

和歌山の留学生

きのくに

第29号
(2018)



和歌山地域留学生等交流推進協議会

目次

1. 巻頭言

「和歌山高専は海外に開かれた学校です」

和歌山工業高等専門学校 校長 角田 範義

2. 留学生から

2-1 「私の故郷はこんな国」

和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科4年生 YAP YEE XIAN (マレーシア)

2-2 「私の留学生活」

和歌山工業高等専門学校 物質工学科4年生 JASON JONAH JAMES (マレーシア)

2-3 「私の留学生活～「やってみなはれ！」～」

近畿大学 生物理工学部3年生 MAHARJAN PRADIP (ネパール)

2-4 「教えるために当たり前のことを忘れる旅」

和歌山大学 教育学研究科修士課程1年生 ROMAIN EDELMANN (フランス)

2-5 「日本で生活する私の夢」

和歌山大学 日本語・日本文化研修留学生 DE OLIVEIRA MARTINS LUDMILA (ブラジル)

3. 国際交流を考える

3-1 「スペイン留学体験記」

和歌山大学 観光学部観光学科2年生 鈴木 友貴

4. 調査と統計

4-1 外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果

4-2 県内外国人留学生との交流行事（事業）に関する調査集計

4-3 県内外国人留学生との交流行事（事業）写真集

4-4 和歌山地域の留学生受入状況

4-5 和歌山地域留学生の推移

5. 協議会の活動

5-1 事業報告

6. 資料

6-1 和歌山地域留学生等交流推進協議会要項・申合せ事項

6-2 和歌山地域留学生等交流推進協議会委員名簿

和歌山高専は海外に開かれた学校です

和歌山工業高等専門学校 角田 範義

和歌山工業高等専門学校（和歌山高専）は、1964年、工学系の技術者を養成する目的で御坊市に設立された国立の高等教育機関です。和歌山大学システム工学部より歴史は古く、機械、電気・情報、生物・化学、土木の4分野の技術者を県内外に送り出してきました。

高専では、中学校を卒業後、5年間（高校一短大に相当）の一貫教育を行います。これは、話題となっている「高大接続」を先取りした教育制度であり、高専の特徴でもあります。

高専も大学と同じように「国際性を備えた人材育成」をスローガンとして海外との交流を図っています。特に中国上海電機学院とは2002年の交流協定締結後、2004年から14名前後の学生が相互に年1回、10日間ほど訪問を行い、2018年で29回目となります。今では、この短期留学に参加した学生に「海外異文化交流（1単位）」として単位を認定する制度もできました。この経験から、15年間もの間継続できたのは人の力（お互いの信頼関係と継続する意思）が重要であると思っています。この短期留学には教員も同行します。これほどの長期間になると限られた教員のみでの実施は困難ですので、全員の協力が必要です。結果として、本校の教員は短期留学の引率を行うことで団長として海外渡航の経験も有することとなり、教員の意識向上に役立っています。

国際交流を推進するためには、教員の海外に対するバリアーを下げる必要があります。若い時期に海外を経験することは教育や研究の展開に必要なので、毎年1名、在外研究員（1年間）として海外に派遣しています。文化の異なる留学生を受け入れる、あるいは海外へ出かけるという国際交流には、教職員の意識、特に留学や仕事で海外と係わった経験、が鍵となります。その意味で、組織を支える人達の海外経験を高めることが間接的ですが国際交流（留学生受け入れ、海外派遣）の継続という点で効果的であると思います。

本校は、中国以外からも留学生を受け入れているだけでなく、さらに最近インドネシアの3大学との学術交流協定を締結とともに5名の学生を派遣しました。海外に開かれた学校として国際交流を進めていきたいと考えています。



私の故郷はこんな国

和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科4年生
YAP YEE XIAN (マレーシア)

皆さんは約80民族が同じの国と一緒に生活を過ごすことがどんなものか想像できますか。日本と違って、四季がなく、一年中に暑いところに住んだことがありますか。それは私の故郷—マレーシアです。

マレーシアは東南アジアにあって、タイやインドネシアやシンガポールと接します。マレー半島とボルネオ島から構成されます。全部で約80の民族が含まれて、その中3つ主要な民族というマレー系、インド系と中華系です。

多民族国家なので、マレー語もしくはマレーシア語が国語としていられていますが、日常にいくつかの言語を広く使われます。

だから、マレーシア人は少なくとも、マレー語と英語の2つの言語が身に付いています。私たちは約61年間長い時間多民族社会の中に生活してきたとともに、お互いの生活に同化してきました。もっとも目立つのは **bahasa rojak** という新しい言語が生まれました。日常会話に一つ文章でいくつか言語と方言を入れ替えて、混ぜています。言語が違って、意味が通じます。

もし皆さんは実際にマレーシア人間の会話を聞いたら、びっくりするかもしれません。

マレーシアにはイスラム教を信仰するマレー系民族が最も多いです。中華系やインド系の民族はイスラム教、仏教、ヒンドゥ教、キリスト教などから自由に宗教を信仰できます。どこに行ってもそれぞれ宗教の建物が見えます。多民族国家なので、文化や祝日や食べ物などとても豊富です。

その上で、それぞれの民族のお正月は別々の日にあって、マレー語で **rumah terbuka** いわゆる親類や友達や隣人を誘って自分の家にお正月をお祝いしに来るという習慣があります。だから、自分は中華系だけど、毎年マレー系とかインド系民族の友達から誘われて、家に遊びに行きました。

その時は他の民族の伝統的な文化を体験したり、おいしい食べ物を楽しんだりします。



マレーシアでは、夏休みとか春休みがないけれども、どちら民族のお正月でも、全国休みになるので、一緒にお祝いすることができます。皆さん、もし東南アジアへ旅行したかったら、ぜひマレーシアに来てください。



私の留学生活

和歌山工業高等専門学校 物質工学科4年生
JASON JONAH JAMES (マレーシア)

皆さん、海外へ留学することを考えたことはありませんか？
小さい頃から私はそう思っていました。私は日本に留学してもうすぐ2年経ちます。そのうちに、色んな一生忘れられない良かった事や困った事が思い出になってきました。

去年の四月三日に私の日本での留学生活が始まりました。正直に言うと外国語を学ぶ才能がない私にとって日本で生活していく上で一番困ることがやはり日本語でした。自国で2年ほど基礎レベルから応用まで少しずつ学んできましたが、日本に来たばかり時は幼稚園レベルほどの日常会話しか出来なかったため、心からの気持ちを表現出来なかったんです。

また、クラスメイトの関西弁や和歌山弁ばかりの話とか授業中先生方の話は最初ほとんど聞き取れなかったのが、本当に困りました。

そこで、たくさんの日本人の友達を作ったり授業内容を理解出来るように、諦めずにクラスメイトともっと話したり授業が始まる前に予習することで日本語能力を徐々に上達させる事が出来ました。

海外に留学してカルチャーショックも受けました。

例えば、初めて日本のコンビニに行った時に誰かが大きい声で「いらっしゃいませ」と言うことは私にとって驚きでした。また、レストランなどで簡単な日本語で注文する事やコンビニでカフェラテを買う度に、「日本語が上手ですね」と特に中高年の方によく言われました。私はそういった事が興味深いと思います。

次にエスカレーターに乗る上で、関西では右側に並びますが、関東では左側に並ぶので今でも戸惑ってしまいます。それで、関西に住んでいる私は東京にあるエスカレーターに乗ったら、たまに反対の側に並んでしまいます。

マレーシアで日本語を勉強し始める前にも日本人のマナーは世界の中でも最高だと言われることを知っていました。特に日本での挨拶です。目上の方に挨拶をするのは日常生活の必要な部分になっていて感動しました。私は残りの留学生活で勉強もしながら、日本の文化などについて更に深く学んでいきたいと思っています。



私の留学生活～「やってみなはれ！」～

近畿大学 生物理工学部3年生
MAHARJAN PRADIP (ネパール)

私はネパールから来ましたマハラジャン・プラディプと申します。近畿大学生物理工学部の3年生です。私の名前を日本人に伝えると、「マハラジャ？どこかの国の王様みたいな？」とよくいわれることがあります。誤解のままにしないため、私は「私の名前は「マハラジャ」ではなく、マハラジャ「ン」です。「王様みたいな？」ではなく、ごく普通のネパール人です。」と説明します。他にも国のことや生活などについても誤解されることが多々あります。ここでは、留学生活の中で私にとって大切なことばについて述べます。

私はネパールから一人で日本へ来ました。私はネパールにいたころ、とてもシャイで、人と話することが苦手でした。私の中には内向的なアイデンティティが出来上がっていました。そんな私に日本のNPO法人が日本留学のチャンスをくれました。シャイで内向的だった私は、自分で「留学したいです」と積極的に手を挙げることはできませんでした。なぜなら、私にとって留学するという事は、偉大な冒険でした。両親と相談を重ねて重ねて、留学する決断をしました。

そして、2014年に来日しました。留学を機に、自分の性格もポジティブに変わるかと思ったら、むしろ慣れない環境の中で、内向的でネガティブな考え方が一層強くなっていきました。しかし、ある一つの日本語が私をポジティブに変えてくれました。それは、当時ホームステイ先のお父さんから教わった素晴らしい言葉、「やってみなはれ！」です。

「やってみなはれ！」の意味は「やってみなさい！」です。私にとって、標準語の「やってみなさい！」と関西弁の「やってみなはれ！」は、違う響きを持つ言葉でした。「やってみなさい！」は丁寧にも聞こえますが、少し強制的な感じがしました。一方、「やってみなはれ！」は、少し気楽で、「結果がどうであれ、やってみたらどう？」のようなニュアンスが感じました。この魔法の言葉「やってみなはれ！」に背中を押されて、私はいろいろなことに挑戦するようになりました。

私が挑戦したことの一つは大学2年生の時に和歌山大学で開催された「第15回学長杯留学生による日本語スピーチコンテスト」に参加したことです。私は「自分探しの旅」というテーマで発表しました。シャイで内向的だった昔の自分を変えてくれた言葉、「やってみなはれ！」と「留学」というきっかけについて発表しました。スピーチ大会には大学の先生と友達が応援に来てくれました。スピーチを発表する前は、とても緊張していましたが、先生と友達、また和歌山大学の先生方からの応援と励ましを受けて、練習してきた通り発表することができました。その結果、私のスピーチは好評価され、最優秀賞をいただきました。

一つの言葉が私に貴重な体験を与えてくれたと感じました。また、いろいろなことにチャレンジし、多くのことを経験しながら学ぶことの重要性も教えてくれました。昔の内向的で、何事に対しても弱気な私を積極的に挑戦する者に変えてくれた、「やってみなはれ！」は、私にとって本当に大切な言葉です。日本でしか得られないことを得た感じがします。



調査と 統計

これからの生活においても、自分自身に「やってみなはれ！」と言い聞かせながらいろんなことに挑戦していきたいです。最後になりましたが、今まで私を直接的あるいは陰で応援し、助けてくださった皆さんに心から感謝しています。



教えるために当たり前前のことを忘れる旅

和歌山大学 教育学研究科修士課程 1 年生
ROMAIN EDELMANN (フランス)

和歌山大学教育学研究科 修士課程 1 年生 ロマン(Romain)と申します。フランスから来た、と言いたいところですが、実は 4 年以上前から日本に住んでおり 3 年間も大阪で勤めてきたので普通の留学生とは少し過程が違います。

こんな外国人がなぜ日本へ?という質問は、外国人なら誰でも何度もされたことがあります。好きな食べ物は何ですか?(答え:塩とレモンで食べるお寿司)、日本人の女の子はどうですか?(答え:国籍は関係なく、良い人は良い人です)と一緒に、外国人として一番される質問のベスト 3 に入っているでしょう。

そんな質問には、だいたい「日本語の響きが好きだったから日本に興味を持ちはじめた」という答えをしますが、考えてみればそんな単純な話じゃないですね。野球少年に「なぜ野球が好きなの?」と聞いたら、「盗塁が好きだから」とはおそらく答えないでしょう。実際は、やっていてなんとなく楽しいと感じているから、遣り甲斐を感じているから野球をやっているんです。僕にとっての日本はそれと同じです。いて楽しいです。目指して当たり前前、僕の甲子園でした。

そうやって日本に住んで日本の色んなところを好きになりました。食べ物や観光地はもちろん、和歌山で暮らしてみてもその住みやすさに気づきました。大阪や東京のような大都会ではもちろんないのですが静かで自然がいっぱいです。にもかかわらずお店も多く実際困ることがほとんどありません。特に美味しいものはたくさん買えます。海外交流の歴史があるからか、高質な輸入品が多く、オーガニックのオーストラリアビーフなどを買うことができとても良い意味でびっくりしました。港の近くだけあって、魚もとても美味しい。そして食べ物以外にも、高野山や白浜のような立派な観光地も多く、もっとガイドブックに載ってもいいのにと残念に思います。やはりどの国のガイドブックも首都優先という傾向はありますね。

首都と言えば、僕はパリ出身で、日本のことを知って意外とパリのこともより好きになりました。自分の国から出ないというのはそこにいて当たり前だ、ありがたみを感じないということは多々あると思います。少なくとも僕はそうでした。しかし日本に来て、フランスの好きなところにたくさん気づきました。今まで当たり前だと思っていたことが実は当たり前じゃなかったんです。フランス人が自由に自分の意見が言えて楽だというのは当たり前じゃない。逆に日本人が気を配って相手のことを優先に考えているのも当たり前ではない。全部それぞれの国の良いところで、感謝の気持ちを忘れたくないです。そもそもどんなことでも、当たり前なことなんて一つもないんです。

例えば僕は今英語教育を学んでいますが、生徒の目線で考えられることがどれだけ大切かを知りました。簡単だからわかるでしょう、ルールを説明したからもう理解しているはずなんだ、そんな考え方がいかに危険か日々感じています。和歌山に来てそれを一番学びました。立派な指導者はどんなことでも当たり前だと思わずに、生徒に一番わかりやすい方法で教えるのです。





そこで僕は、そのサポートとしてプログラミングも勉強し、外国語学習を支えるアプリなども研究しています。そしてプログラミングを意識すると、改めて「当たり前じゃなかった」ことに気づく。機械慣れしている僕に使い方が簡単で当たり前でも、初心者でも使いやすいアプリ、ゲームを作るのは難しい。また、英語を学んだのがもう昔のことだったので初心に戻るためにスペイン語を学び始めました。お陰で初心者ならではの苦勞を再度意識できるようになりました。やはり慣れると何でも当たり前だと思ってしまうので、初心の心を保っていきたいと思いました。

今年も今まで同様、今までできたことに感謝しながら、新しいことに挑戦していきたいと思います。皆様も、初心に戻っていただいて新しい発見があれば幸いです。

日本で生活する私の夢

和歌山大学 日本語・日本文化研修留学生
DE OLIVEIRA MARTINS LUDMILA (ブラジル)

私はブラジルのブラジリアから来たルジミラです。9歳のころ、家族と日本に住む経験があったので、大学で日本語・日本文学を勉強しています。外国語の先生になる夢を持っている22歳の私は、海外であることを大事にしています。

去年の7月のころ、日本の文部科学省から奨学金をもらい、日本へ留学しに来ることになりました。9月25日の朝、和歌山大学前駅に着いた時、やっと世界の反対側で生活する夢が叶った感じがしました。ブラジルからの48時間の旅行に疲れていたが、日本で勉強や生活するのは楽しみにしていました。私は「10月から、来年の9月までの留學生活を大事にして、頑張ります」という気持ちで、それから1年間住むところに向かいました。



大学のすぐ近くにあるマンションに他の2人の日本人と住んでいます。2人は優しく、ブラジル人のように熱い気持ちを持っているので、3人で幸せに暮らしています。彼女たちのおかげで、友達をたくさん作っていったり、日本でいろいろやったりしています。

来てから、4か月がたちましたが、先生方やNPO法人WIN コンコードの方々のおかげで、いろいろなところへ旅行しています。今まで、大阪や東京へ行ったり、和歌山で観光したりしています。和歌山の高野山と熊野古道は私が一番行きたかったところなので、嬉しくて心から感謝です。ブラジルへ帰る前に、日本のまだ行っていない、いろいろなところへ行きたいと思っています。



しかし、遊びだけでなく、日本語・日本文化研修生として、大学で日本語、日本文化、日本文学を勉強しています。もっと自然で、上級の日本語をできるために頑張っています。ブラジルの大学を卒業したら、日本語の先生になりたいと思っているので、なるべく日本文化の体験や日本語の練習をしています。

調査と 統計

和歌山に来られて、心は嬉しい気持ちでいっぱいです。ブラジルへ帰ったら、友達や先生方に日本、また和歌山の素晴らしさを伝えてあげたいです。いい経験になるように、最後まで頑張ります。和歌山大学の国際交流課のスタッフ、先生方、学生たち、また WIN コンコードの方々や友達に、感謝です。皆さんのおかげで、日本の生活はだんだん楽しくなっていて、忘れられない思い出をたくさん作っています。



スペイン留学体験記

和歌山大学 観光学部観光学科2年生
鈴木 友貴

世界一の巡礼の終着点、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラでの留学

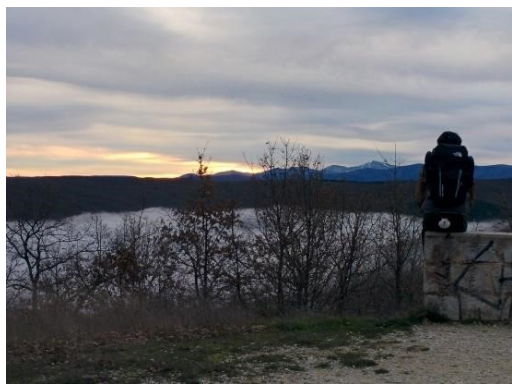
サンティアゴ・デ・コンポステーラはイベリア半島の西端にあるガリシア州のア・コルーニャ県に位置する都市である。聖ヤコブの遺骸があるとされ、バチカン、エルサレムと並びキリスト教の三大聖地の1つとして栄えている。巡礼者は世界遺産のエル・カミノ・デサンティアゴ、サンティアゴの巡礼路を進みこの街の大聖堂を目指す。巡礼者は年々増えており、2018年だけで約33万人を受け入れており、現在は信仰のためだけでなく、観光やスポーツ、目標達成のために歩く人もいる。ガリシア州は巡礼による観光に力を入れており、大きな産業の1つとなっている。また、ファッションブランドのZARAの本社はガリシアにあり、ファッションでも有名である。

私が留学をしているのは、そんな街に多くのキャンパスを持つサンティアゴ・デ・コンポステーラ大学である。サンティアゴとルーゴにキャンパスを持ち、私はサンティアゴの北、南、旧市街という三つのエリアにあるキャンパスに通っている。先ほど紹介したようにサンティアゴは観光都市でもあるが、学生都市でもある。毎年3万人以上の学生が入学し、60以上の学部があるスペインの中でも大きな大学の1つである。私は大学の中でも特に歴史のある地理歴史・地域計画学部に通っている。他にも、言語学とスペイン語クラスの授業を受けている。授業はスペイン語、もしくはガリシア語で行われている。地理歴史学部では、春からの第2学期には観光の授業があるが、前期は自然地理学や人文地理学、歴史についての授業が多い。私は1年間中米のコスタリカに留学をしていたので、高校の授業を頑張って理解できるぐらいの言語力があつた。地理歴史学部の授業は、ガリシア語のものやガリシア語訛りのスペイン語のものがあり、理解するのが難しかった。半年という期間なのでスペイン語の語学力向上に集中するために、理解するのが困難な授業を変えて、言語学でスペイン語学についての授業を増やす決断をした。また観光の面の勉強では、巡礼について個人的に学習をした。私はサンティアゴの巡礼路についてとても関心があり、それについて研究することは私の留学の目標の1つであるため、大学にみえる専門の教授にも助けをいただき学んでいる。スペイン語上達者でない方は、こちらの大学のスペイン語クラスに集中講義があるので、それを半年間受けてから専門の学部の講義を受けることをお勧めします。スペイン語クラスで



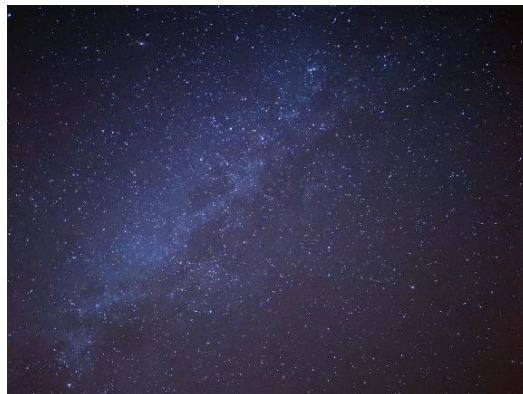
は、レベルに合わせてクラス分けをしてくれるので、とても分かりやすく楽しい講義を色々な国の留学生と受けることができます。少人数で行われるので、発言回数も多くあり、濃い学習ができたので、とても良いと思う。

生活の面では、特に不自由なことはないと思う。サンティアゴはお店も沢山あり揃わないものはないので、基本サンティアゴ内で完結することができる。また治安も素晴らしく良いところで、深夜に女性が1人で歩くことも普通にできる街である。大学の友達とご飯を食べに行くことが多いが、なんと言ってもサンティアゴのガリシア料理は格別美味しい。シーフードやお肉がメインであるガリシアの料理は、味付けはシンプルだが食材がとても良く美味しいと有名である。シンプルだけにとっても調理や調達に難しく、シェフを悩ませる。ここ数年のスペインの料理界では、ブルゴス料理とサンティアゴが中心のガリシア料理が1番注目されている。そんな料理を食べることができて幸せ。またワインも有名な産地がガリシアにあるので、海鮮はアルバリーニョという品種の白ワインを、お肉はラリオハの赤ワインを、どちらも大変美味しく素晴らしいワインだ。日本ではとても高級ですが、ここでは水よりも安く頂くことができるのは驚きだ。全く違うスタイルの料理を楽しむことができるのも留学の魅力だと思う。



大学の授業が終わった後、サンティアゴ巡礼のフランス人の道に挑戦をした。なぜなら私は熊野古道とサンティアゴの巡礼路の共通巡礼を達成したいという目標があったからだ。フランスの San Jean Pied de Port、サンジャンピエドポーというとても美しい小さな村がある。そこはフランス人の道のスタートの地として有名で、私もその町から始めることを決めた。私の留学しているサンティアゴまでは 799km、大陸の果てと呼ばれる Finisterre フィニステラまでは約 900km 長い旅になる

ことを覚悟して、バックパックを担ぎサンティアゴを出発した。冬の巡礼は過酷を極めると言われ、春から秋までキャパオーバーとなって問題になるぐらいの巡礼路にはほとんど人はやってこない。寒さや乾燥さらに雨が良く降る季節という天候の難しさ、95%以上のアルベルゲ（巡礼者用の宿、ホステル）が閉まっており宿の確保が困難であること、防寒対策によりバックパックの重量が増えること、大きくこの3つの点から冬の巡礼は厳しいとされる。確かに、最後 150km ぐらいのガリシア州





に入るまでの道ではほとんど人に会うことは無く、アルベルゲで3人から多くても15人の人と出会うぐらいだった。しかし、その環境が逆に私には面白かった。なぜなら、巡礼路では広大な自然を独り占めできたり、自分と向き合う時間が沢山あったり、静かに自然の音を聞きながら考え事ができた。また冬は15kmおきに開いているアルベルゲが1つあるかどうかぐらいなので、全ての巡礼者が同じ宿に集まる。それが私たちの仲を一層強くし、深い交流ができた。すごく色々な人に出会い、沢山のことを教えてもらった。新しい人との出会いは、巡礼の大きな醍醐味であると感じた。サンティアゴまでの道のりは1か月以上かかったが、自分の足だけでスペインを横断したことはいまだに驚きである。痛みを伴う厳しい道なりではあったが、カミノという巡礼路での時間は有意義で楽しく素晴らしい時間であった。カミノを終わらせたくないという人や、ほとんどの巡礼者がもう1度戻りたいという理由が分かった。巡礼という最も古く、新しくもある観光のスタイルにより関心を持つことができた。



外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果

調査目的

県内外国人留学生の円滑な受け入れの促進と交流活動の推進を図るため留学生に係る生活面での実態を把握し、和歌山県地域留学生等交流推進協議会での検討資料とする。

- (F) 健康について
- (G) 和歌山地域住民との交流について
- (H) その他

調査項目

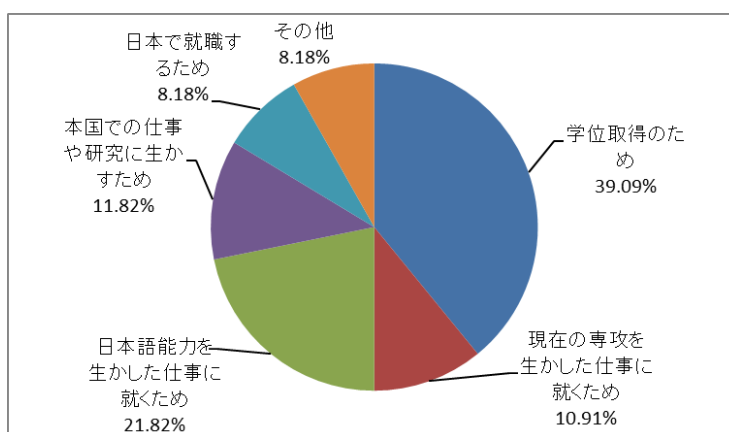
- (A) 基本的事項について
- (B) 住居・通学について
- (C) アルバイトについて
- (D) 生活費について
- (E) 奨学金・授業料免除について

調査時期・対象

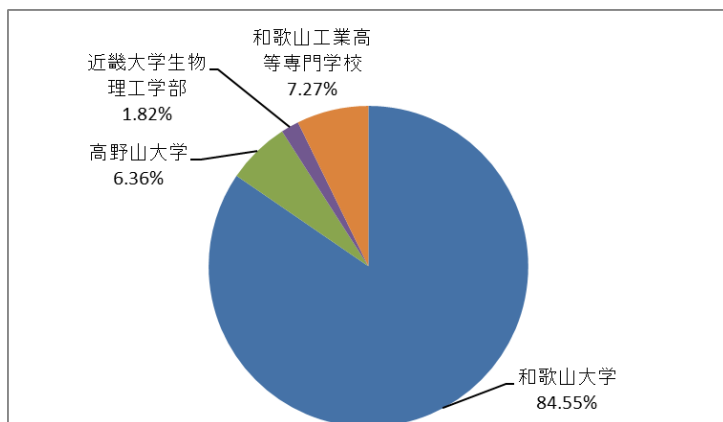
- 平成 30 年
- 和歌山県内の大学、短期大学、高等専門学校に在籍している留学生全員 204 名
- 回答数 計 113 名
- 回収率 55.39%

(A) 基本的事項について

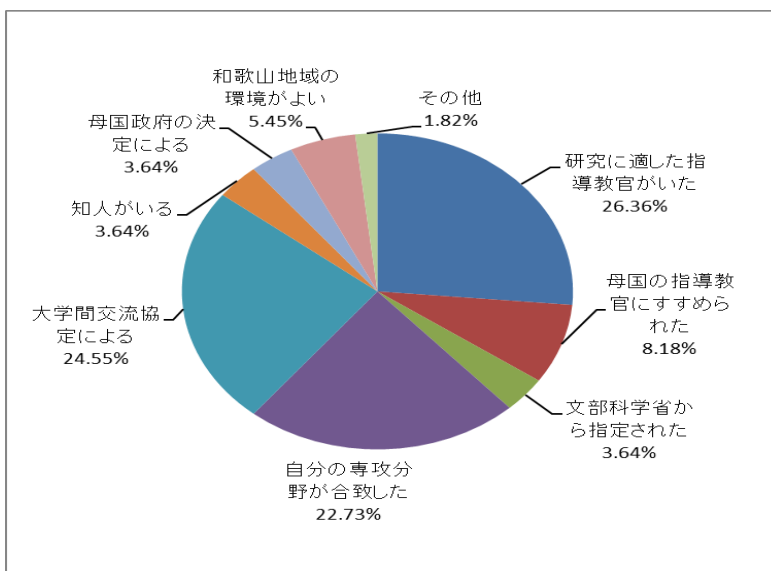
問 1. あなたが日本に留学した理由は何ですか。



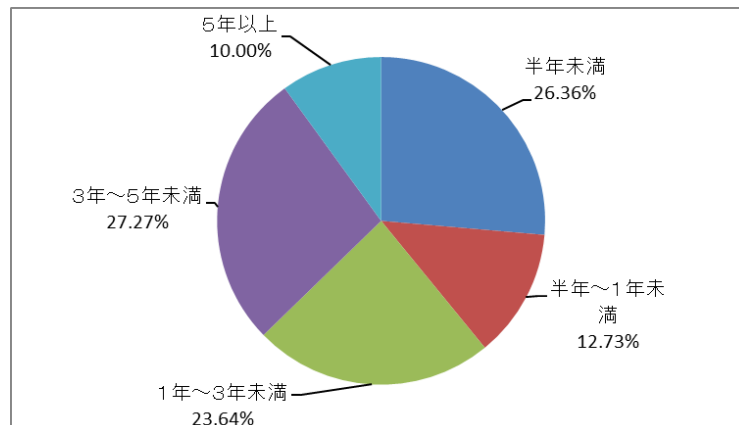
問2. あなたの留学している学校はどこですか。



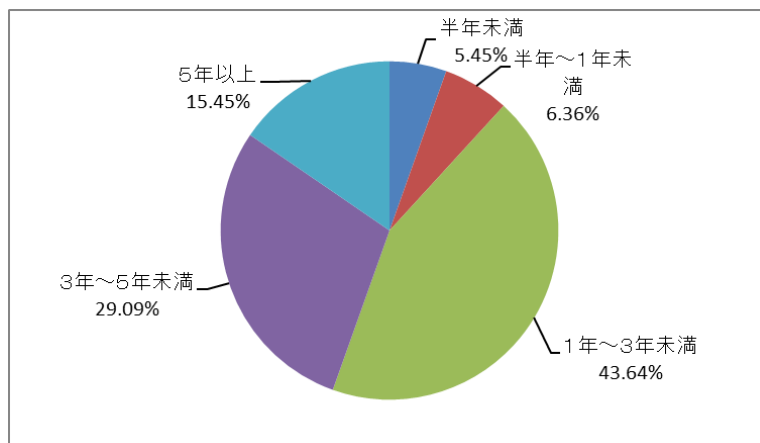
問3. あなたが和歌山の今の大学等への留学を決めた理由は何ですか。



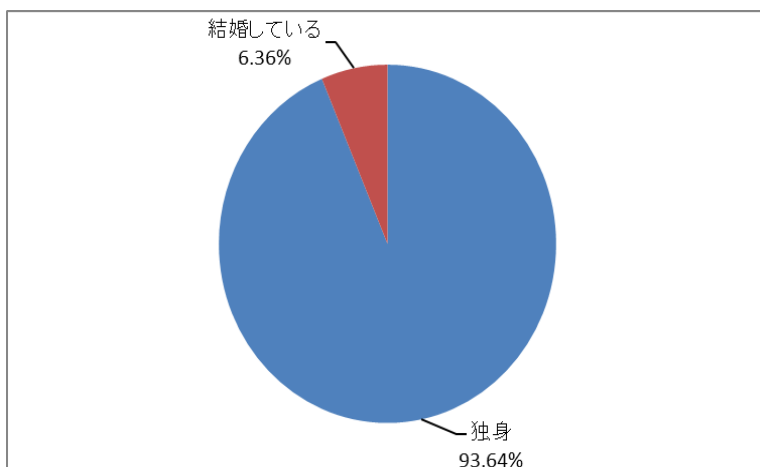
問4. あなたは日本に来て何年になりますか。



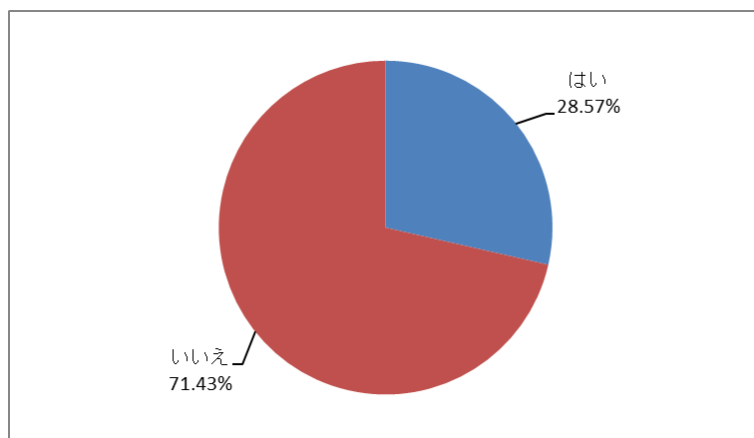
問5. あなたの日本語学習経験は何年になりますか。



問6. あなたは独身ですか、それとも結婚していますか。

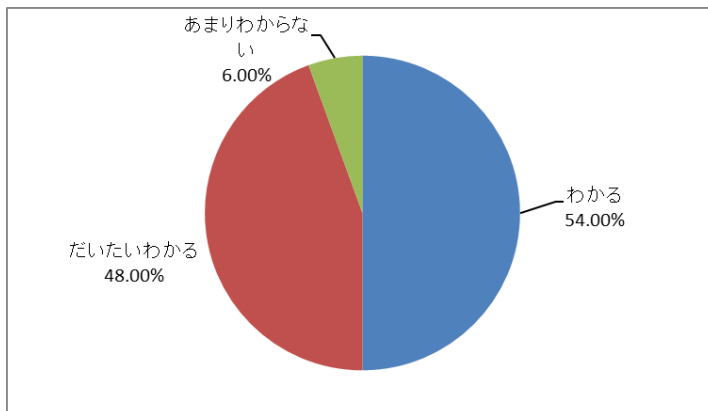


※結婚している場合、あなたの妻（夫）や子どもは日本で一緒に住んでいますか。

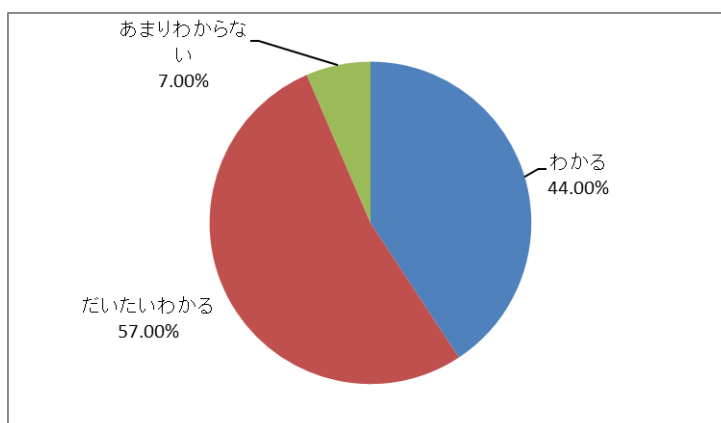


問7. 日本語能力について

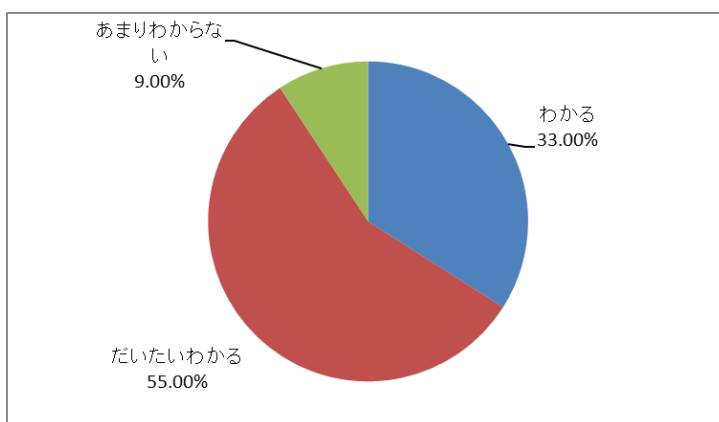
(1) 日常会話について



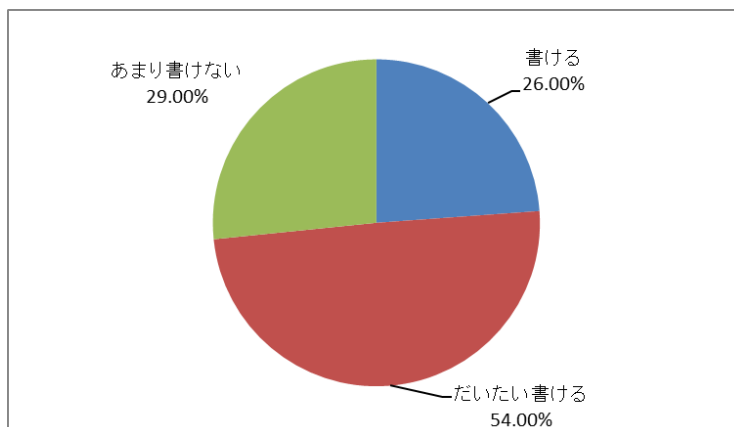
(2) 授業を聞くことについて



(3) 本を読むことについて

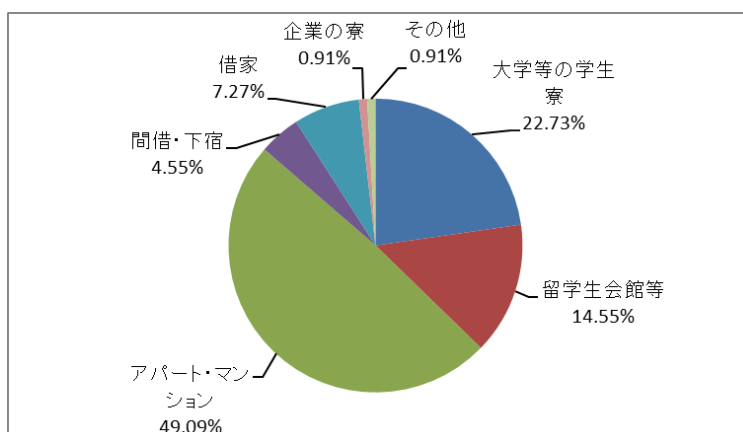


(4) 論文を書くことについて

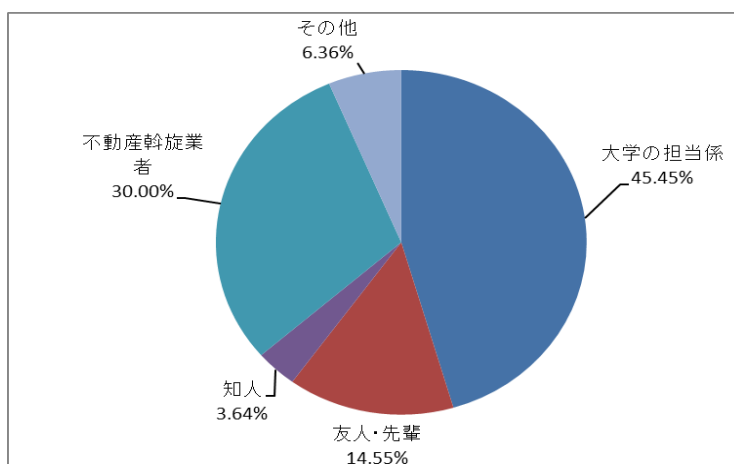


(B) 住居・通学について

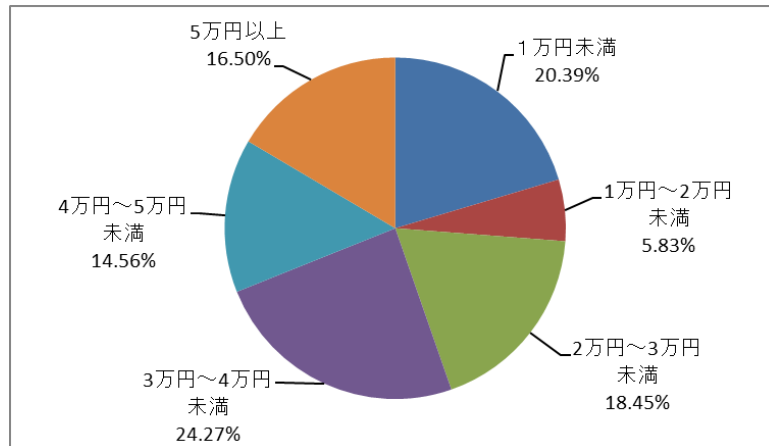
問8. 現在の住居の種別はどれですか



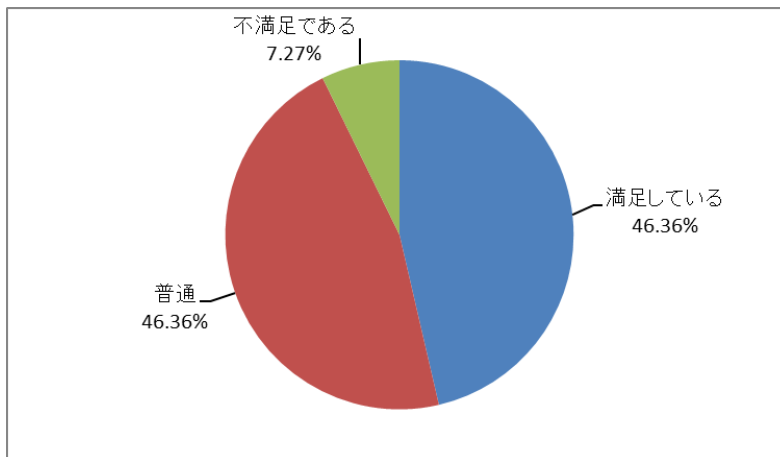
問9. 現在の住居はだれ（どこ）の紹介でみつけましたか。



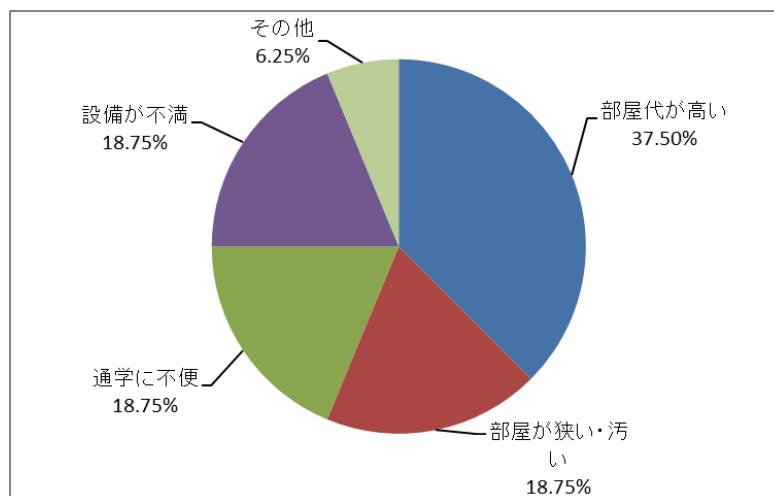
問 10. 1 か月当たりの住居の家賃はいくらですか。



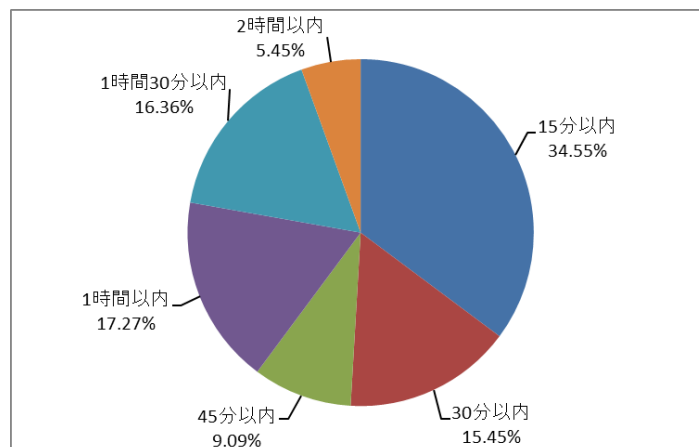
問 11. 現在の住居についてどう思いますか。



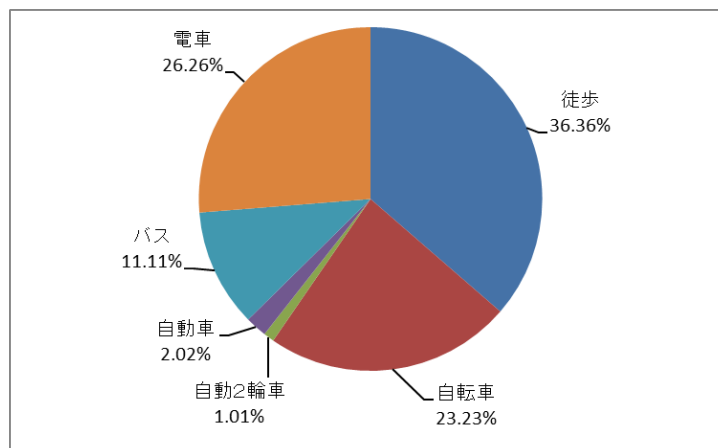
問 12. 問 11 で不満足であると答えた人に不満足な理由



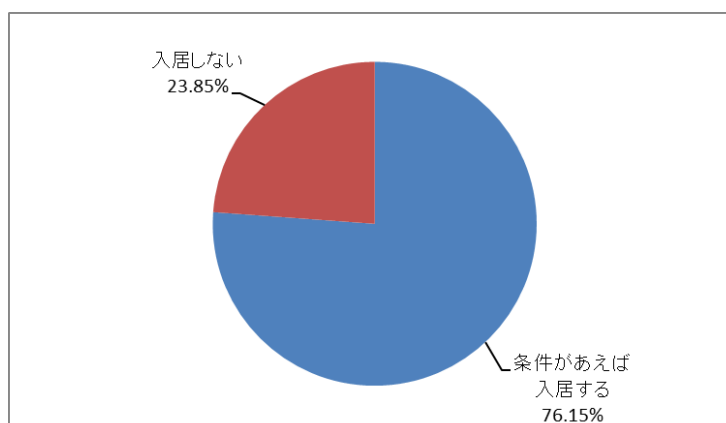
問 13. 片道の通学時間



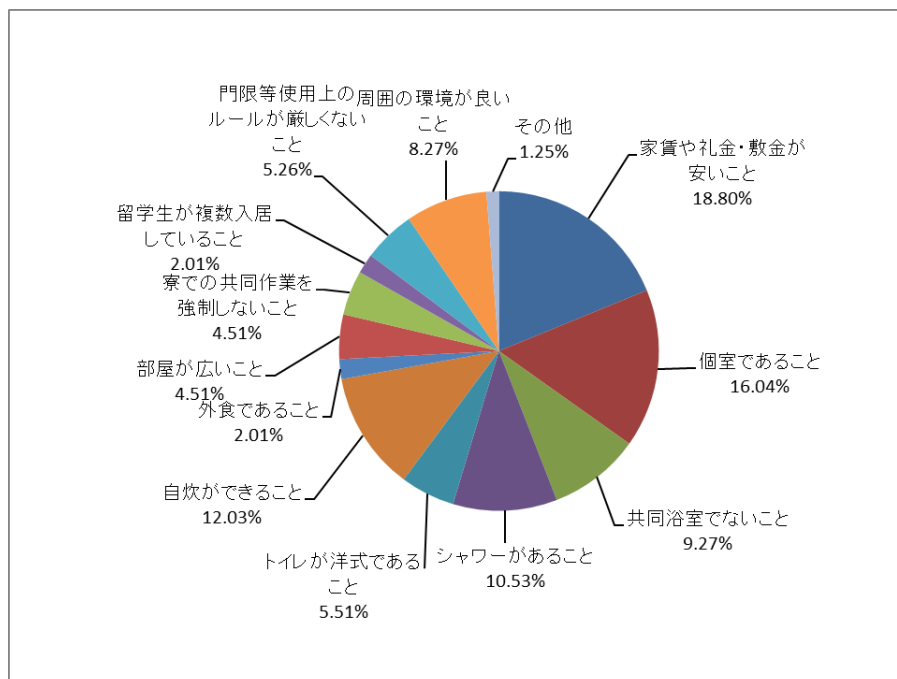
問 14. 主な通学方法はどれですか



問 15. 県内の企業の寮などに入居を希望しますか



問 16. 問 15 で入居すると答えた人でその条件とは（複数回答可）

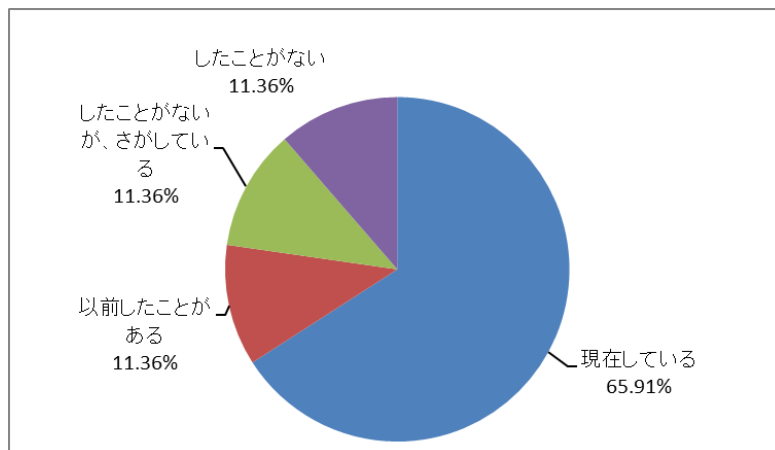


問 17. [問 15 で入居しないと答えた人に]その理由とは。

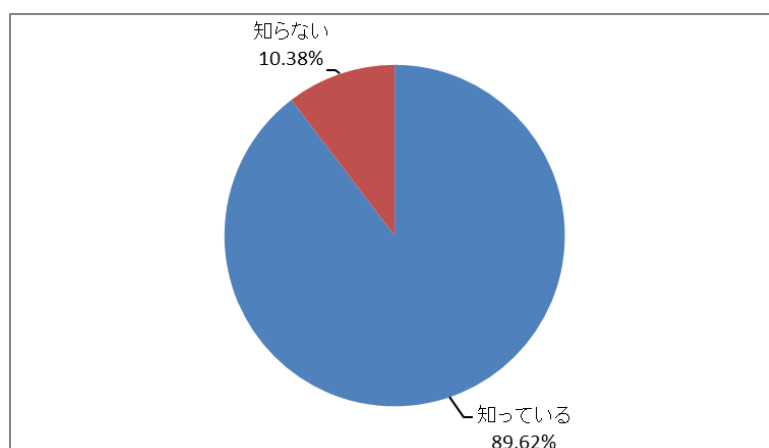
- 不便になるかもしれない。
- 大阪市内に近いところに住みたい。
- 安全性に心配する。
- 大阪に行くときに交通不便。
- 大学に寮があるから。
- 今の寮が良いと思う。
- 不便。
- アルバイトしにくい。
- 交通が不便。
- 和歌山地域は不便。
- 田舎なので。

C. アルバイトについて

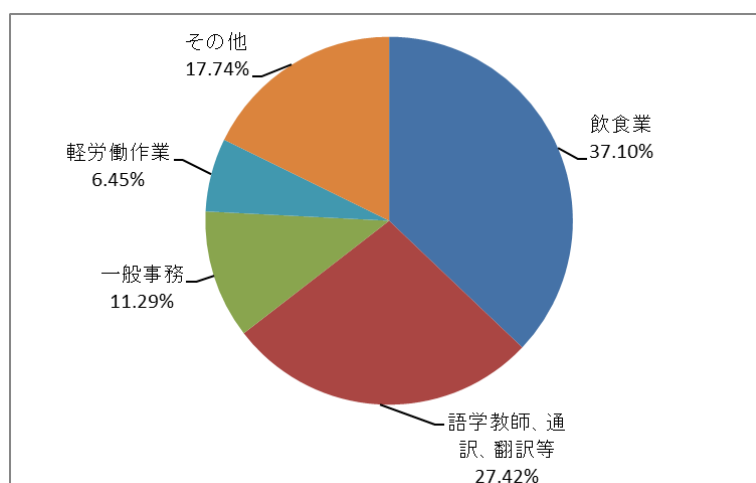
問 18. あなたはアルバイトをしていますか



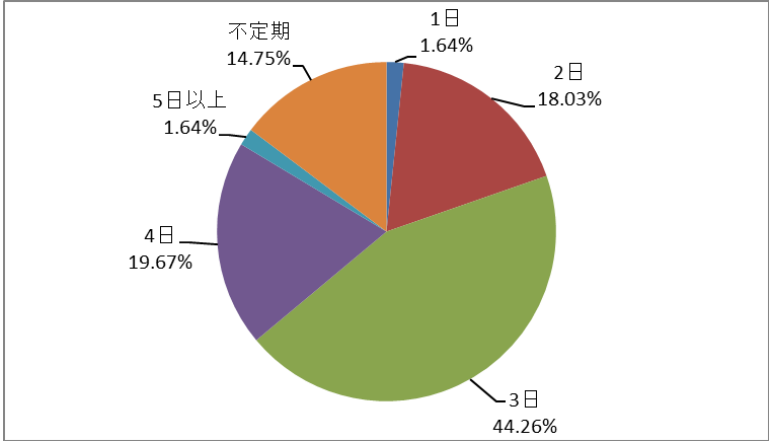
問 19. アルバイトをする時は許可がいることや、してはいけないアルバイトがあることを知っていますか。



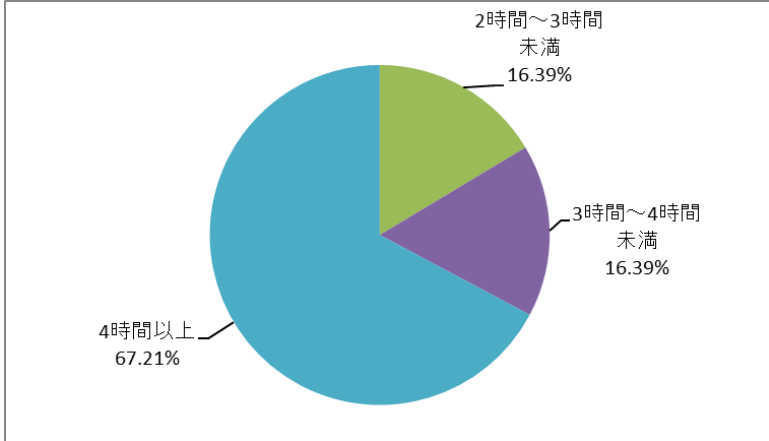
問 20. アルバイトをしている人に。どんなアルバイトですか



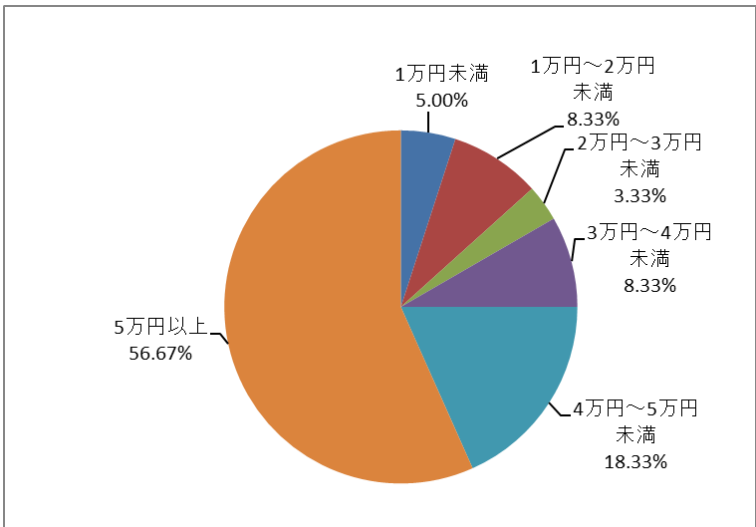
問 21. アルバイトは週何日ですか



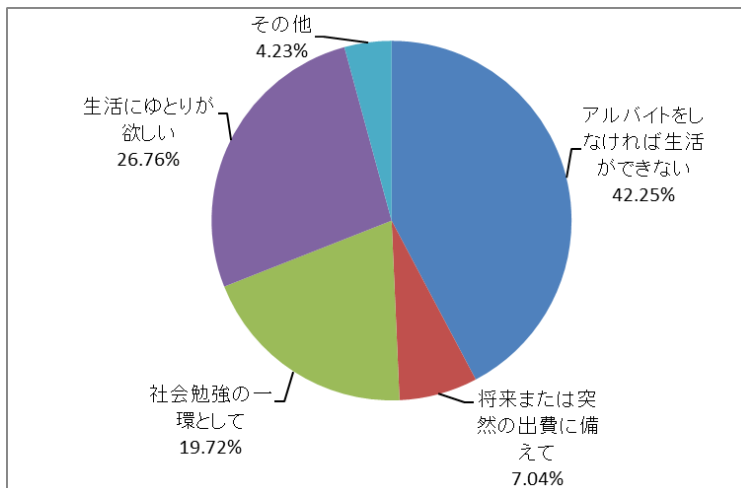
問 22. アルバイトは1日何時間ですか



問 23. 最近一か月でアルバイトで得た収入はおよそ何万円ですか



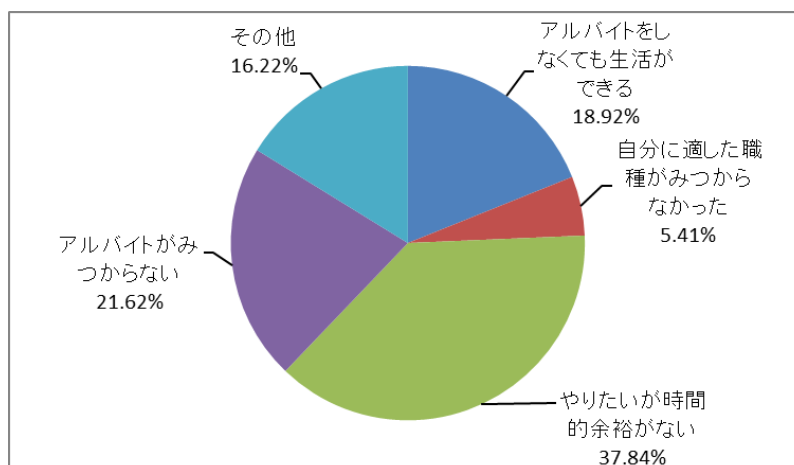
問 24. アルバイトをする理由は何ですか



問 25. アルバイトで困ったことがありましたか

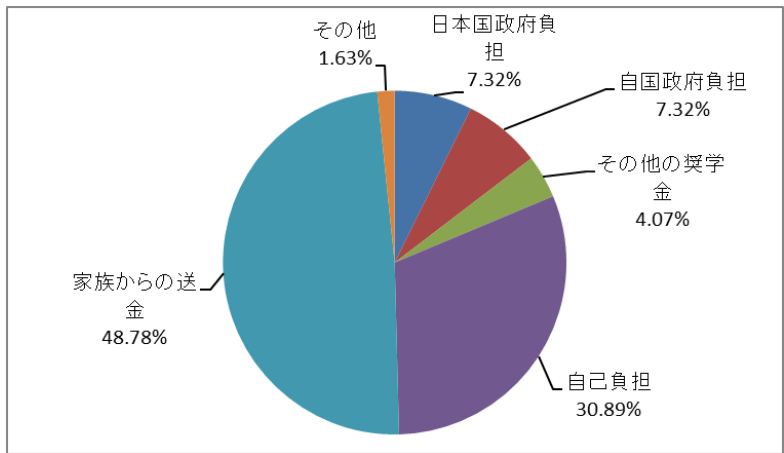
- 1 なし。
- 1 言葉の問題・方言が分からない。
- 1 人間関係。
- 1 外国人だから時々いじめられて尊敬されないことがある。
- 1 文化的背景の違う中での協調。
- 1 店のルールが多い。
- 1 給料が低い。
- 1 差別。
- 1 客とのトラブル。

問 26. アルバイトをしていない理由は何ですか

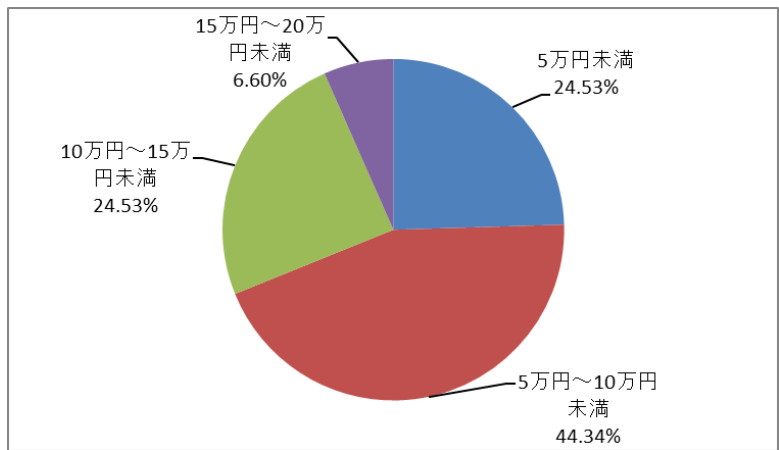


D. 生活費について

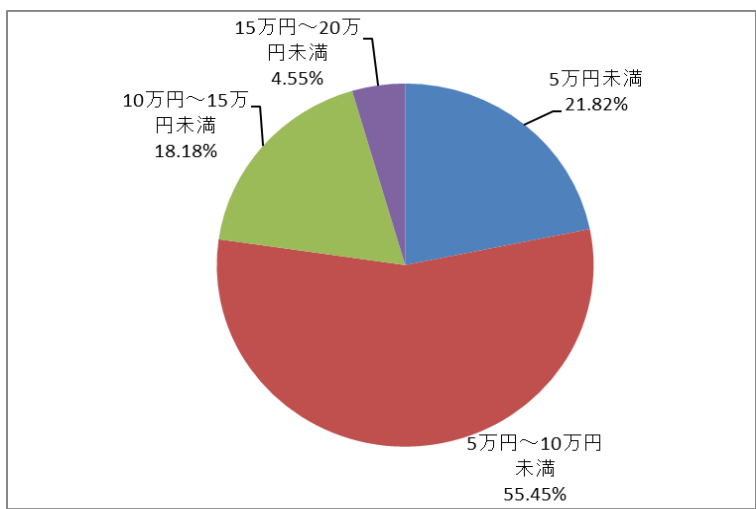
問 27. あなたの留学経費は主として何によって得ていますか



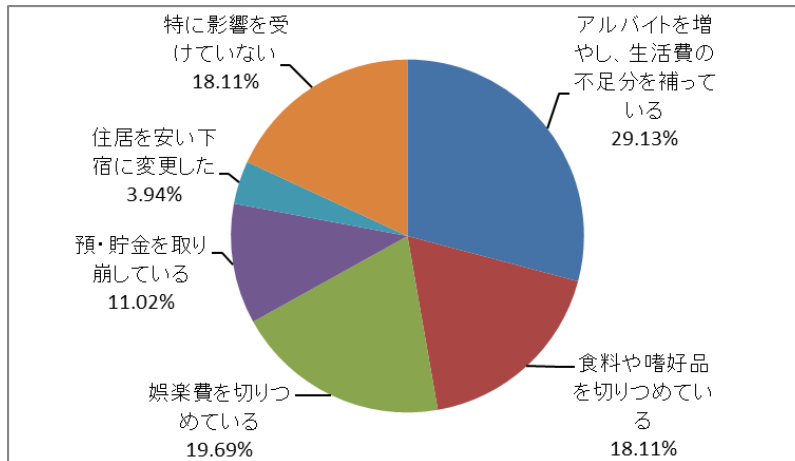
問 28. あなたの1か月の平均収入はどれくらいですか



問 29. あなたの1か月の平均支出はどれくらいですか

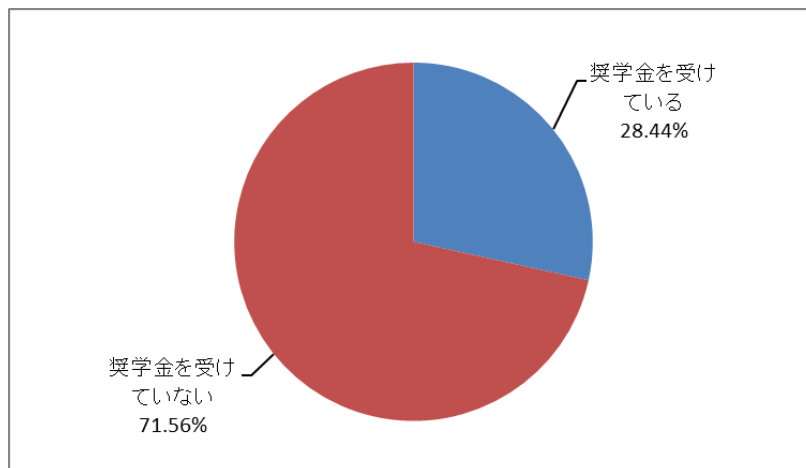


問 30. 日本での高い生活費をどのように対処していますか



E. 奨学金・授業料免除について

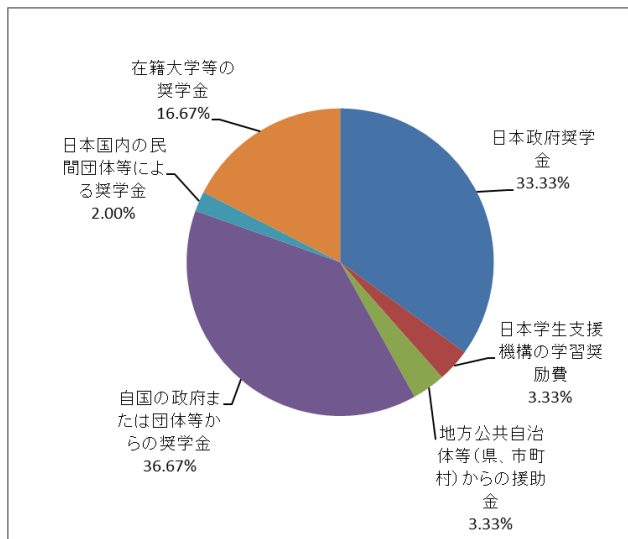
問 31. あなたは、現在奨学金をうけていますか



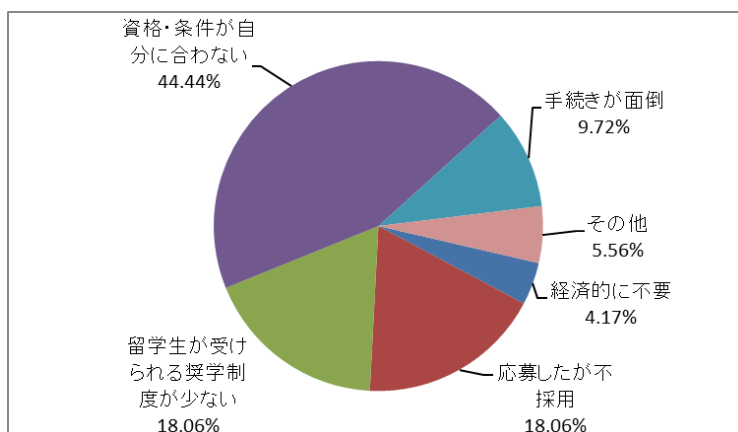
問 32. 奨学金の額は1か月いくらですか

(平均)¥107,655

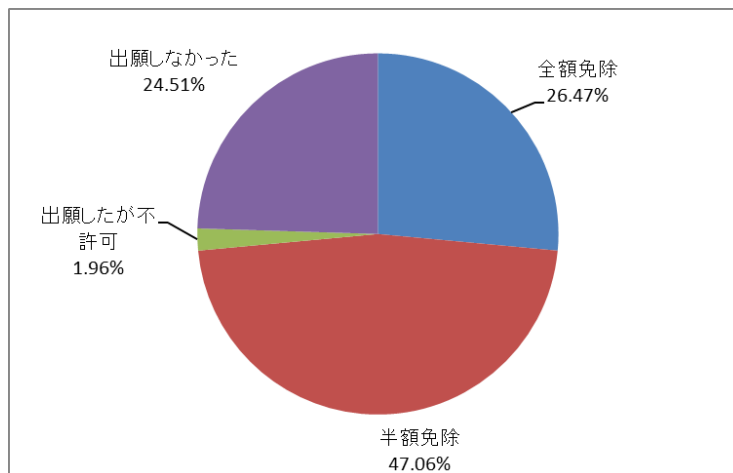
問 33. 奨学金の種類は次のどれですか。一つだけ選んでください。



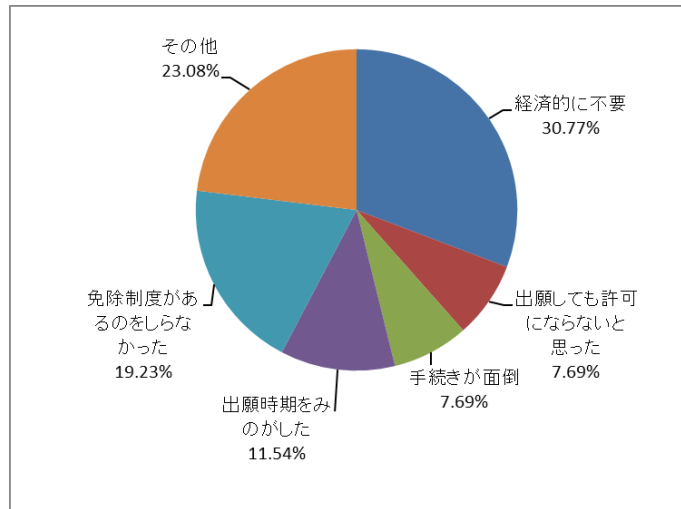
問 34. [奨学金を受けていない人に] 奨学金を受けていない理由は何ですか。一つだけ選んでください。



問 35. あなたは授業料免除（平成30年度前期分）をうけましたか。

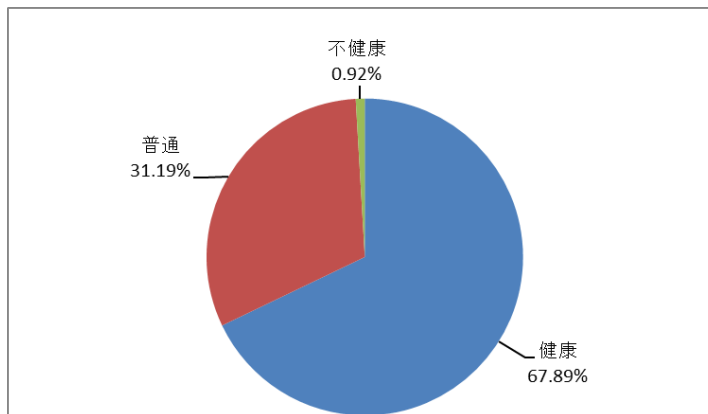


問 36. [授業料免除を出願しなかった人に] 出願しなかった理由はなんですか

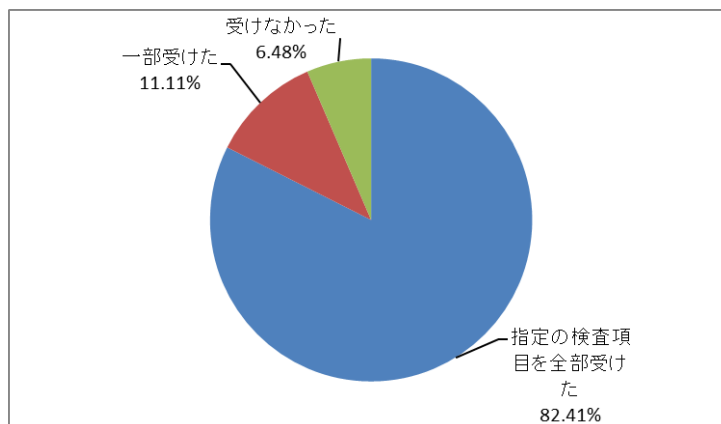


F. 健康について

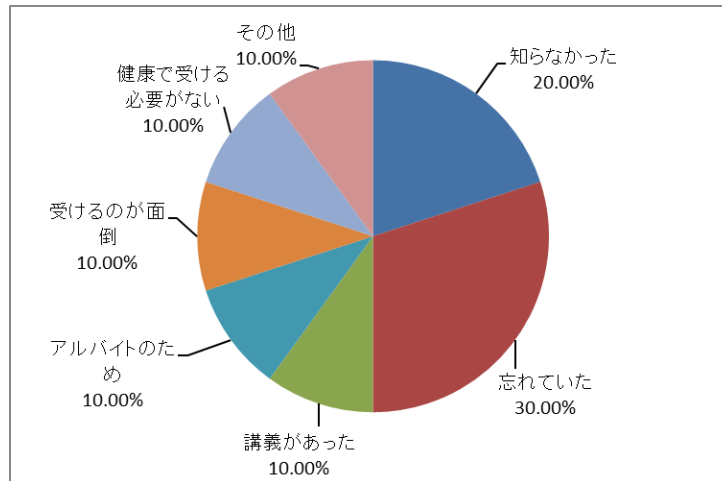
問 37. 現在、あなたの健康状態はどうですか



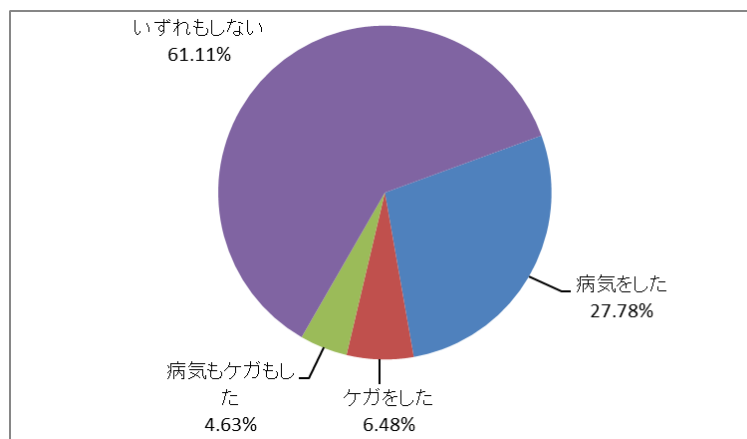
問 38. あなたは大学等が実施する 2018 度または 2019 年度の定期健康診断を受けましたか。



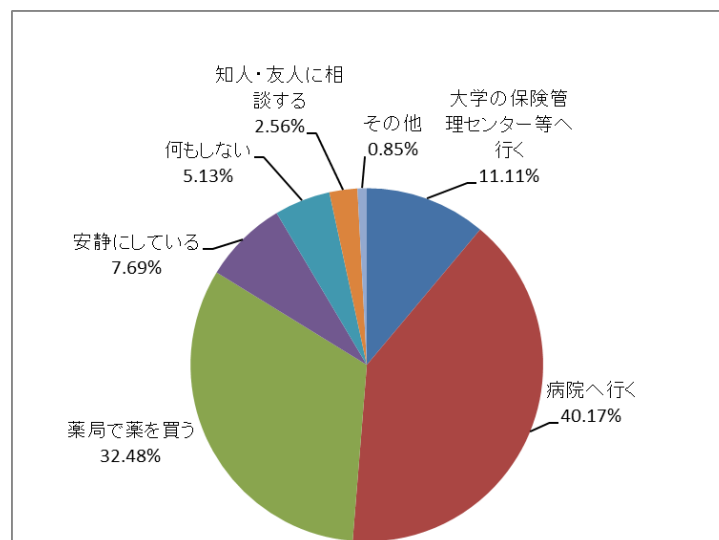
問 39. 定期健康診断を受けなかった理由はなんですか。



問 40. 過去1年間に病気やケガなどをしましたか。

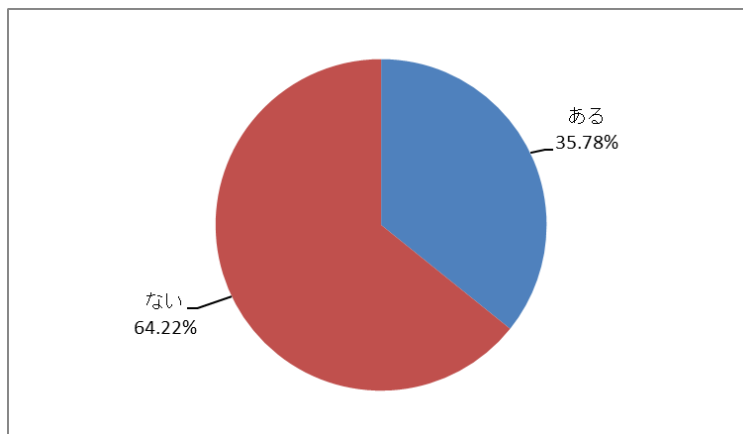


問 41. 体の具合が悪くなったとき、あなたはどのように対処しますか。

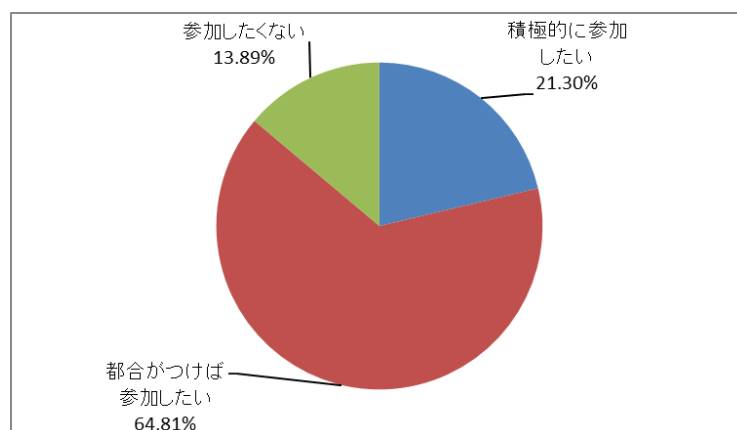


G. 和歌山地域住民との交流について

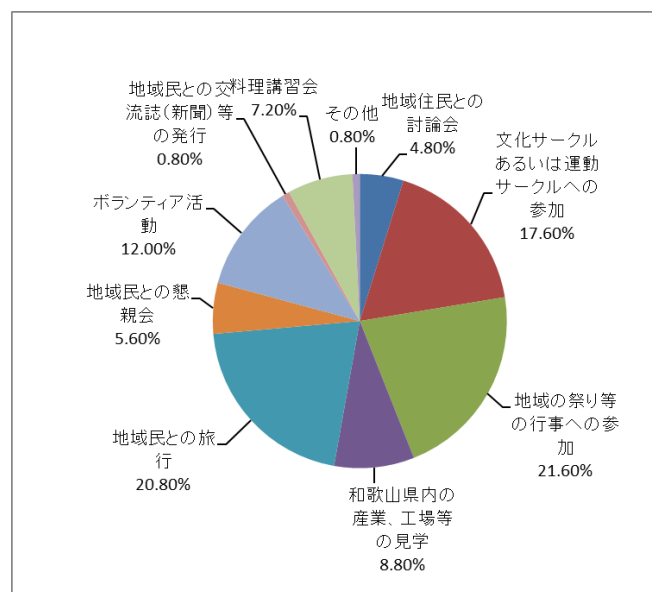
問 42. あなたは和歌山地域住民との交流の会に参加したことがありますか。



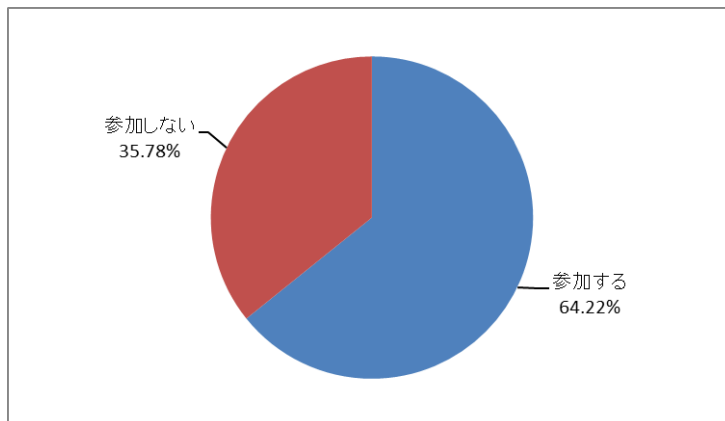
問 43. あなたは和歌山地域住民との交流の会についてどう考えていますか。



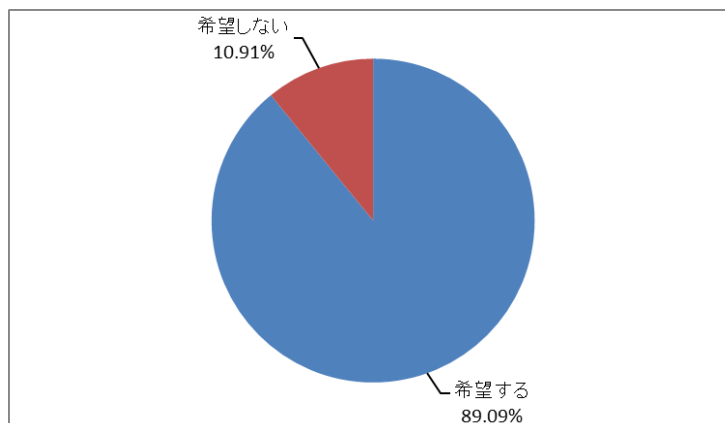
問 44. 今後どのような交流を希望しますか。一つ選んでください



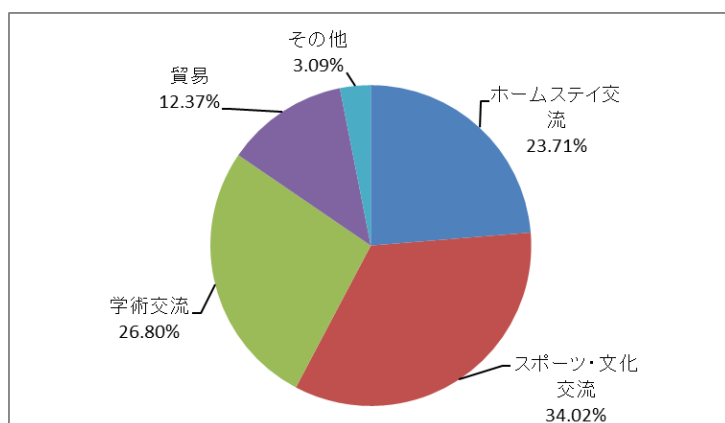
問 45. あなたはホームステイ、ホームビジットの機会があった場合参加しますか。



問 46. 帰国後の交流について希望しますか。

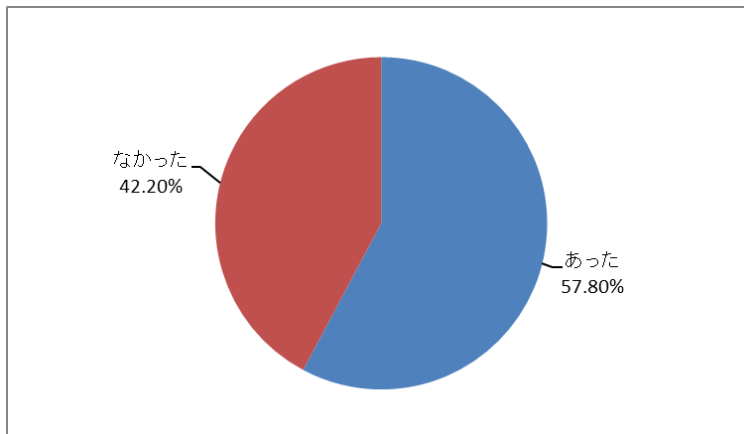


問 47. 帰国後の交流で希望すること。一つだけ選んでください。

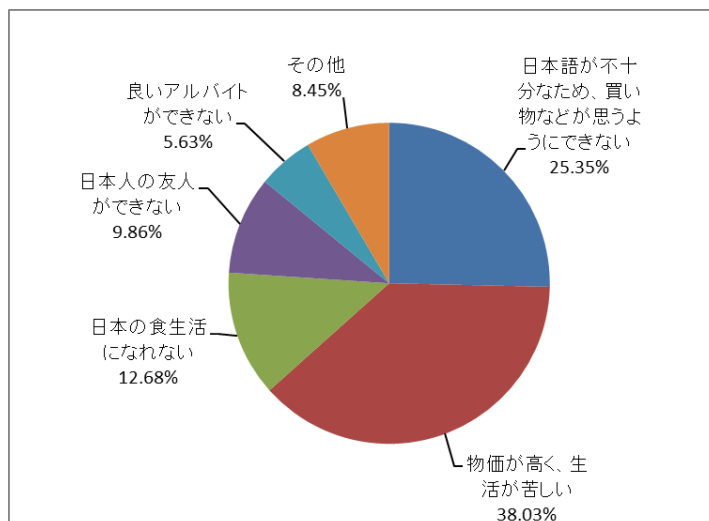


H. その他

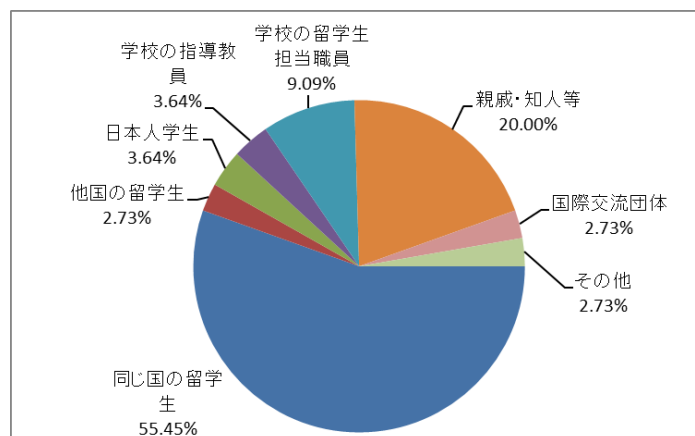
問 48. 日本で生活するうえで、困ったことがありましたか。



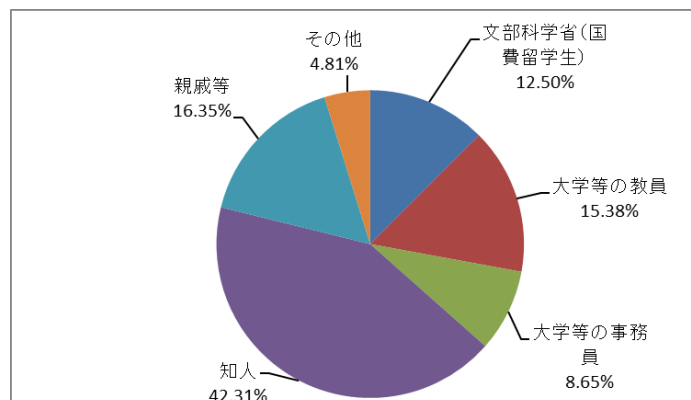
問 49. 困ったことは次のどれですか。一つだけ選んでください。



問 50. 困ったときに相談する人は、次のどなたですか。一つだけ選んでください。



問 51. あなたの大学等における身元保証人はどなたですか。



問 52. 身元保証人を見つける時に、どんな困難がありましたか。

- なし
- 探しにくいです。
- 日本で知りあいが少ない。
- なかなか身元保証人にしてもらう人がいない。
- 母国にいるから書類や手続きが難しい。
- 快く引き受けてくれる人を探すことが困難。
- 手続きが面倒。

問 53. 大学の事務サービスについて、どんなことを希望しますか。

- 食堂用カードの配布と使用説明が欲しい。
- 親切に対応していただきありがたい。
- 日本語の文章チェックをしてほしいです。
- ありません。
- 今まででよい。十分。
- 奨学金の案内、奨学金の種類を増やしてほしい。
- 今まででよい。何かを効率よくすること。
- 早く手続きしてほしい。
- 正規生の活動が少ない（交換留学生に比べ）
- 授業料の免除のこと。
- 活動が多くなってほしい。
- Less paper, more online, less e-mail.
- すばらしいと思う。
- 留学生の交流する機会を増やしてほしいと思う。
- 生活面のサポートをもっとしてほしい。
- 日中交流のイベントの知らせ。

問 54. 留学生として、地域や大学にどんなことを望みますか。また、和歌山に滞在しての感想、意見を自由に記入してください。

- 留学生として私はここで多くの友達と交際してもっと多くの知識と文化を学び、理想的な成績を取って学校を卒業したいです。個々で学ぶ過程の中で感じがとてもよくてみんなとても親切で優しく、教務所の先生と私の指導先生とそして他の留学生と日本の友人多くの助けをもらいました。本当にありがとうございました。そしてここは環境が良くて景色が美しいのでここはとても勉強に適しています。和歌山大学はますますよくなることを望みます。
- 特にないです。大学にとってもいい勉強の環境を与えてくれてありがとうございます。こっちは大学の周辺に住んでるのですが、大阪や他のところに行く度に大変に思っこのバスや電車などより便利なサービスをくれればありがたいです。和歌山ですがいいところと思います。人も優しいし風景も天気もいいし、交通や災害の対応講座など増えればいいと思います。
- 特になし。
- 留学生に向けて多くの旅行とか見学が開催すれば生活が楽になるかもしれない。
- 前、東京に住んでた時に各区、市には外国人を日本のことを理解してもらうような組織と定期的な会話イベント、それを和歌山市でも体験したくてそれを期待しています。日本語会話教室や文化交流の場を和歌山市から提供していただければ幸いです。
- 日本人学生と交流や友達を作る機会を作っていただきたいです。さらに地域の地元文化や学習を体験したいです。
- 和歌山で1年くらい住んでいましたが、とても住み心地がいいところです。ただアルバイトの時給が少ないから普通の生活とか学生とか稼ぎできないから引っ越しました。外国人として特に留学生として私は金銭的な面満足できないなら住めないです。だからもしこの面でサポートがあるならいいと思います。
- 和歌山は静かな町だと思っお年寄りになったら和歌山に住もうと思います。住みやすい街だから。
- 今年から和歌山大学に勉強を始めて、日本の大学の課程と大学の様子を了解しました。すごくいい体験でした。日本人学生と仲良しになりまして大学の活動にもよく参加しました。来年留学生に対する学内の活動を増やすことが期待しています。旅とか見学とか留学生に関する講演会とか。充実する学内生活を望みます。
- 食堂の昼飯のメニューを増やしてほしい。
- 学校に行くバスを増便してほしい。
- 今交換留学生として和歌山で日本語を勉強しています。ベトナムの大学で卒業したあと、日本に戻って学部生として留学したいです。専門は広報 PR です。和歌山大学で広報を勉強できる学部はありますか？また編入したいのです。

- 地域や大学に食料品を買うのが簡単な場所と交通手段を見つけるのは難しくないことを望みます。和歌山はとても便利な場所だと思います。コンビニが徒歩圏内にあります。しかし市内への交通は少し難しいと思います。バスは特定の時間にのみ利用でき料金は非常に高いです。
- 私は和高専に今まで2年間半となりました。初めて高専に着いた場合、色々大変なことが起こりました。例えば3年生の時、私が結核という病気になった。今は大丈夫。その時先生たちが見舞いに来てくれて感謝した。今生活が慣れるようになりました。和歌山に滞在して良いところだと思う。実は私の故郷に似てるんだ。これからも生活にも勉強にもますます頑張りたいと思っている。
- 留学生の私にとって大学等の近くにスーパーやデパートがあればよいと思います。また私は初めて和歌山市に行ったときに思ったより人が少ないのでびっくりした。和歌山に面白いところがないと思っていたのですが、インターネットで調べたり日本人の友達や先生方からいろいろなものを教えてもらったりして実際に和歌山県が結構有名そうだと思います。
- 学校のちかかもっと発展したい。
- 自分が住んでいる地域（御坊市）内に走っているバスの往復回数を増やしてほしいです。現在は日祝日に朝8時55分からしかないので和歌山市や大阪にイベントに参加するためにはタクシーに乗らなければなりません。交通費の負担が重くなります。今まで1年半位御坊市に住んでいてよかったです。買い物は不便だけど全体的に住みやすいと思う。しかし交通が不便なところがあるのでなかなかボランティアやマラソンあ文化交流会やホームステイなど交流会が参加できなくなります。逆に田舎のところなので自然が豊か海にも近いストレスがたまっているとき町をまわして気分がよくなります。いつか進学するとき和歌山から出て絶対和歌山に恋すると思う。
- 和歌山県は自然が豊かで人々も熱いと思います。しかし交通の便利さはまだまだ進歩することができます。私は3年間和歌山に住んでいて日本の中で1つ好きな県です。来年から愛知県へ引っ越しですが、いつか和歌山に戻ってきたら先生たちと会いたいです。この3年間ありがとうございました。
- 和歌山にいる間生活の問題があまりなくて満足しています。ただバイトを探しましたが見つけれませんでした。
- 今の生活は満足していてあまり問題はないと思っています。
- 留学生歓迎のアルバイト選択を増やしてほしいです。マレーシア人の女子として出かけるときはヒジャブをかぶらなければならないことでヒジャブを外すという条件でアルバイト先が結構あるから不満があります。他に和歌山に住んでいるところは全体的に良いと思います。自然に囲まれているところ、人が優しいところ、物価が安いところが満足しています。
- 和歌山大学に勉強しているいろいろなイベントに参加できてとてもうれしかったです。少し気になるところがありますが、留学生たちはここに来てから勉強の雰囲気は少なくなる共感があるようです。一人暮らしを始めて図書館に行く回数を減らし以前より勉強する意欲がなくなるということで困っています。

- 今年4月から和歌山大学に入学した。いろいろな体験をした。日本人の友達もできた。大阪に住んでいるので和歌山市に行くときは頻繁ではないが日本人の友達と付き合う時和歌山に対する印象がすごくいいである。そしてこの1年間日本人学生と一緒に勉強すること日本人学生の勉強の態度を感心している。そして授業外の場合に日本人学生と交流するチャンスが欲しいであり楽しみにしている。
- 日本人や学生たちに話し合う機会が増やしたらありがたいです。そして私にとって和歌山は生活に良いところですが、バスは「ICOCA」を使えない点が少し気になります。
- 家族と一緒に住みたい。
- 通学は不便だ。学校の近くの寮に住みたい。
- 留学生寮があれば良いと思う。
- 学校は学生にアルバイトを提供します。(食堂や図書館とか)
- 和歌山市のバスは高いので学生は半額になったらいいと思います。
- 異文化交流会の人と一緒に旅行すればいいと思います。
- 和歌山に来て半年すごく楽しかった。学校の先生やWINの先生は優しくて親切。半年お世話になった。今住んでいるところは高松の国際交流会館だ。毎日通学に時間がかかるがほかのことはすごく便利だと思う。やはり市内のほうが便利だ。交通費は高すぎる。他のは完璧だ。
- 静かなところで生活を暮らしたくさん人(中国人にも日本人にも)出会って友達になることは幸せだと思う。また大学の図書が古いし本を借りるため遠い県立図書館に行くのも不便しそういうところが整えればいいと思います。
- 物価は相対的に安い、通学もしやすいがアルバイト賃金が低いので住めない。和歌山市に住むと結局通学時間がかかるので大阪市内に住んだ方が便利。学生が県外に住む人が多いから県内の活気にプラスにならない。仕事のチャンスが増やせばすみたいと思う。
- 和歌山地域は空気がいい生活すれば気持ちがいいと思いますが、
- 和歌山地域は空気がいい。生活すれば気持ちがいいと思いますが大阪より不便です。大学については食堂の食事の種類が少ないと思います。増やすことを望みます。私のこと、和歌山大学の留学生なので、和歌山での留学している人と交流したいと思います。
- 和歌山へきてよかった。山もあるし海もあるし、人も優しくしてくれた。もし留学生の活動が多ければいいなあとと思っています。
- 環境がいい。先生も優しい。毎回楽しい。

- 和歌山に来て大体1か月半です。ここは静か、人も優しい。しかし交通が不便。運転バスがちょっと少ないからです。1時間2つのバスがあります。バスの数を増加してもらいたい。
- 和歌山市は東京大阪とくらべてそんなに発達していませんけど、生活としては十分便利だと思います。そして大都市の喧騒もなく静かな生活ができます。大阪京都奈良などの各市にも電車で1時間くらいで行けます。とても住み心地がよいところだと思います。
- まず留学する大学の授業が豊富になります。私たちは授業でたくさんの日本文化を体験できます。そして日本人との交流の機会も多く提供します。地域について優しい人、整った整備、便利な交通があった方がいいと思います。和歌山大学は文化体験にたくさんチャンスを提供しています。和歌山は交通が便利ですがでも近くの店舗がちょっと少ないと思います。
- いい町だ。周りの人もすごく優しい。楽しい生活だった。
- 環境がよくて静かだと思います。私の住んでいる国際交流会館の近くはスーパー、郵便局もあるのでとても便利になります。
- 他の留学生と交流できるきっかけがあったらぼくとしてもうれしいですが、外国人と関りがすくない日本人にとってもいいことだと思います。
- 大学の国際化が足りないと感じた。例えば受け入れる留学生にもあまり興味がないと感じた。それから和歌山に住んで交通が不便だと感じた。バイクを持たなければ非常に不便だ。さて和歌山の物価が非常に高く東京、大阪と同じくらいと思った。和歌山は田舎といえますが、なぜ物価が大都市のように高いか常に困惑している。
- 和歌山にいくことができうれしい。留学生として和歌山大学は観光を勉強するのにすばらしい。将来また訪れたい。しかし留学生にとって奨学金がない学生は大変生活が厳しい。奨学金があれば、もっと勉強に専念でき安心して生活をおくることできる。
- We have 3 Japanese course at different levels a week and there doesn't seem to be any organization or structure to the class. Because of this it's difficult to understand exactly what is being taught. There is also too much homework to keep on top of.
- 大学の昼休みをもっと長くした方が良いです。大学の字のマークを作った方が良いと思います。
- I feel the people was so nice and the environment is so good. It was a good place to do some research but something I think the bus time is not convenient.
- 地域や大学の学生たちや先生方に応援と支援を望みます。日本についてのはもう2か月たちまして和歌山に来られてよかったです。私は自然が大好きですので周囲の環境が本当に良いと思います。和歌山の方々も新設で良かったです。あと私が住んでいるところの近くにバス停や駅、スーパーがありますのでとても便利だと思います。
- 私は今の状況に満足しています。特に望むことはありません。

1 和歌山の経済はやばい。昔々和歌山には百貨店が5つあったという噂を聞いたことがある。今は1つしか残ってないので多少不便があるかも。

- 和歌山の留学生向けの活動がたくさんあるから本当に感謝して素晴らしいと思います。しかしもっと日本人の日常生活も体験したいのでホームステイ活動が欲しいです。
- 和歌山は住みやすいところです。自然豊か、環境が恵まれたところです。和歌山県下全ての留学生を集めて年1回の集会をやってほしいです。
- 大学寮は遠いのもっと近くにしてほしい。留学するのは楽しいですが、もっと日本人と日本語で話したいです。大学であまり日本人学生と話していません。話す機会が少ないから。
- 地域の祭りなどが多いならいいと思う。そして日本人の家に行きたく本場の日本人は普通どのような生活をするのか知りたいのだ。そしてもし事務があればもっといいと思う。先生たち、学生たちみんなも親切で優しいのでとても楽しみだ。
- スーパーやコンビニに学割カードがあることが欲しいです。
- 外国人観光客のため和歌山がいろいろ変わっている。それはすごくありがたい。しかし自分らしく生きてほしい。自分の魅力を見つけてほしい。そうしたら和歌山が本当に好きな人を呼び寄せるだろう。観光客の人だけでなく和歌山住民にもっと楽に生けるだろう
- 毎年同じアンケートを記入していますが、アンケートの結果、アンケートに応じて実施している対策を公表してほしい。またアンケートの内容を変えてほしい。

1 今の大学は何のメリットもない。留学生を指導する先生もいない。また同じ国からきた仲間を探さなければならない。最初は非常に寂しかった。留学生としての存在は名前だけかもしれない。

1 交通費が高い。

- もっと日本人との活動がもっとあればいいと思います。和歌山の人は親切で大学の先生も親切です。空気と環境がとてもいいのでここに生活して本当に楽しいです。学生にとって和歌山は勉強して生活してなんか時間流れるのが早いです。
- 日本語の授業の分配を整える。例えば1週間に5個授業がある場合、文法・読解・聴解・オーラル・漢字で同じ水平でした方がいいと思います。
- 人が親切。丁寧。しかし銀行で外国会社の送金できないので少し困っている。

平成30年度 県内外国人留学生との交流行事(事業)に関する調査

機関・団体名	実施期間	行事(事業)名
和歌山大学	平成30年4月	4月新入留学生オリエンテーション・新入留学生歓迎交流会
	平成30年6月	前期多言語サロン(本学の学生・教職員を対象に、留学生が生きた言語の習得や異文化を理解する機会を提供)
	～平成30年7月	
	平成30年7月	和歌山県交流事業山東師範大学訪問団受入れ
	平成30年8月	留学生による作文コンクール
	平成30年8月	修了留学生のフェアウェルパーティー
	平成30年9月	10月新入留学生オリエンテーション
	平成30年10月	10月新入留学生歓迎交流会
	平成30年11月	留学生研修旅行(奈良公園と法隆寺散策)
	平成30年11月	3大学合同教育プログラム(カセサート大学、ガジャマダ大学)
	平成30年11月	さくらサイエンスプラン受入実施(中国東北大学)
	平成30年11月	後期多言語サロン(本学の学生・教職員を対象に、留学生が生きた言語の習得や異文化を理解する機会を提供)
	～平成30年12月	
	平成30年12月	留学生による日本語スピーチコンテスト
	平成31年2月	修了留学生のフェアウェルパーティー
和歌山県立医科大学	平成30年7月	チェコチャールズ大学留学生歓迎交流会
	平成30年9月	チェコチャールズ大学留学生歓迎交流会
	平成30年10月	山東大学学生交流会
	平成31年2月	香港中文大学学生交流会
高野山大学	平成30年4月	新入留学生オリエンテーション
	平成30年10月	タイ国立ラチャモンコンラタナコシン工科大学訪日・高野山体験プログラム
	平成30年11月	大学祭「曼荼羅祭」への参加・出店
	平成30年12月	和歌山大学主催の留学生による日本語スピーチコンテスト参加
和歌山工業	平成30年4月	留学生懇話会
高等専門学校	平成30年7月	留学生スピーチ大会
	平成30年11月	留学生研修旅行
	平成30年11月	中学校との国際理解交流会

平成30年度 県内外国人留学生との交流行事(事業)に関する調査

機関・団体名	実施期間	行事(事業)名
和歌山県 日中友好協会	平成30年10月	「中日友好千年萬年」の記念碑顕彰式典 紀三井寺の境内で、中国人留学生、中国駐大阪総領事館等 等を交え、日中友好の絆を深める。
	平成30年10月	中国語スピーチコンテスト
	平成31年1月	新年互礼会
	平成31年2月	春節餃子会 中国の留学生と一緒に餃子を手作りし、その後食べながら 交流会を開き、中国の春節を祝う。
和歌山県山東省 文化交流協会	平成30年12月	山東省出身留学生等との交流懇談会 和歌山県・山東省の日常のことや歴史・文化を語り合い、 懇談を通じて交流を図る。
和歌山国際ボラン ティア組織KNOW	平成30年10月	第28回外国人による日本語スピーチ大会 在住外国人に日本語で発表する機会を提供することを通じて 相互理解と親睦を深めるために開催する。内容は「暗唱部門」 「スピーチ部門」の2つに分かれる。
	平成31年1月	新春国際交流パーティー 新年をお祝いするとともに、餅つきやゲーム等 各種アトラクション観賞、参加者同士の親睦を深める。
国際ソロプチミスト 和歌山	平成30年11月	留学生と国際ソロプチミスト和歌山会員との交流会 外国人留学生10名と大池遊園内レストランにて昼食。 その後、ネットで発信され外国の若者に人気のたま電車 に乗り、日本ののどかな田園風景を眺めながら交流を深める。
NPO法人 WINコンコード	平成30年4月 ～ 平成31年3月	年間を通じて、生活関連の情報提供と支援、生活用品の貸 与、土日の緊急対応等。 日本語及び日本の歴史・文化等の学びの支援

平成30年度 県内外国人留学生との交流行事（事業）に関する調査

機関・団体名	実施期間	行事（事業）名
NPO法人 WINコンコード	平成30年4月 ～ 平成31年3月	ホストファミリープログラム 家庭に招待したり、生活上の情報提供や相談に応じる 就職活動に向けた勉強会 日本の企業に就職を希望する留学生にアドバイス
	平成30年4月	新入生歓迎お花見
	平成30年5月	NPO法人WINコンコードニュースレター28号発行
	平成30年5月	第10回NPO法人WINコンコード総会・交流会（華月殿） 「カザフスタンについて」のスピーチ、交流会では各国の留学生が、歌、踊りを披露し参加者全員でクイズを楽しんだ。
	平成30年6月	白崎海岸とピアノコンサート 白崎海岸のレストランで地元食材を使った料理を食べ、海岸を散策した。有田市主催する有田出身ピアニストの演奏を聴いた。
	平成30年6月	先輩・現役留学生交流会
	平成30年10月	第27回留学生の故郷を語る集い—後期新入生歓迎会— フィリピンからの教員研修性がフィリピンについてスピーチ、その後、新入留学生と交流を行った。
	平成30年10月	東京藝術大学特別講演～オペラへの招待状～「魔笛」
	平成30年11月	高野山・丹生都比売神社 紅葉狩り
	平成30年11月	柿狩りとハイキング
	平成30年11月	大学祭模擬店への協力（留学生が出店するための各種支援）
	平成30年12月	新堀こども園でお餅つき大会
	平成30年12月	八朔狩りと鍋パーティー
	平成31年1月	日本のお正月体験
	平成31年1月	会社訪問〔（株）島精機製作所〕
(公財)和歌山県 国際交流協会	平成30年5月	国際交流フェスティバル 留学生2名がフードコートでサポートし、地域民と交流を行った。

交流行事

〈和歌山大学〉

和歌山県交流事業山東師範大学訪問団受入（紀州経済史文化史研究所見学）



多言語サロン



交流行事

〈和歌山大学〉

後期新入留学生歓迎会



留学生研修旅行 (奈良公園)



交流行事

<高野山大学>

タイ高校生プログラム



曼荼羅祭



交流行事

〈和歌山工業高等専門学校〉

留学生スピーチ大会



留学生研修旅行（太地にて）



交流行事

〈国際ソロプチミスト和歌山〉

留学生と国際ソロプチミスト和歌山会員との交流会



貴志川電鉄（たま電車）



交流行事

〈NPO 法人 WIN コンコード〉

新入生歓迎お花見



先輩・現役留学生交流会



交流行事

〈NPO 法人WIN コンコード〉
2018 年大学祭・留学生の店出店



八朔狩り



交流行事

〈和歌山県山東省文化交流協会〉

留学生懇談会



和歌山城見学



交流行事

<和歌山国際ボランティア組織 KNOW>

第28回外国人のための日本語スピーチ大会



発表者の様子（自由スピーチの部で1位をとった張羽さん（和歌山大学留学生））



和歌山地域の留学生受入状況

平成30年10月1日現在

大学等名		和歌山大学	和歌山県立医科大学	高野山大学	近畿大学 生物理工学部	和歌山信愛 女子短期大学	和歌山工業 高等専門学校	合計	
国名(地域)									
アジア	中国	107	1	12	6	-		126	
	マレーシア	13		1		-	5	19	
	韓国	3				-		3	
	ベトナム	10	1	1		-		12	
	インドネシア	4				-		4	
	シンガポール					-		0	
	台湾	2			1	-		3	
	ネパール			1	1	-		2	
	タイ		1	6		-	1	8	
	フィリピン	1	2			-		3	
	カンボジア			4		-	1	5	
	バングラデシュ					-		0	
	モンゴル	1				-		1	
	ラオス						1	1	
オセアニア	ソロモン諸島	1				-		1	
欧州	フランス	5				-		5	
	イギリス	1				-		1	
	ブルガリア					-		0	
	ベラルーシ					-		0	
	ハンガリー					-		0	
	スイス					-		0	
	ロシア	1		1		-		2	
	ウズベキスタン	1				-		1	
	カザフスタン					-		0	
中東	トルコ	1				-		1	
アフリカ	ガボン	2				-		2	
	エジプト	1	1			-		2	
北米	アメリカ合衆国					-		0	
中南米	アルゼンチン	1				-		1	
	ブラジル	1				-		1	
合計 (22カ国)		156	6	26	8	-	8	204	
留学費用別内訳	国費留学生	10	3			-	3	16	
	私費留学生	外国政府派遣留学生	12	1			-	5	18
		交換留学生	38				-		38
		県費留学生					-		0
		上記以外留学生	96	2	26	8	-		132
合計		156	6	26	8	-	8	204	

和歌山地域留学生の推移

	全国5/1	県全体10/1	和歌山大学	県医科大学	高野山大学	和歌山高専	近大生物 理工学部	和歌山信 愛短大	近大青鞞 短大
平成2年	41,347	36	17	9	6	4			
平成3年	45,066	33	25	3	1	4			
平成4年	48,561	41	29	7	1	4			
平成5年	52,405	55	40	8	3	4			
平成6年	53,787	76	58	9	3	5			1
平成7年	53,847	78	58	9	3	5		2	1
平成8年	52,921	76	59	8	1	6		2	
平成9年	51,047	78	55	12	4	7			
平成10年	51,298	75	53	13	3	6			
平成11年	55,755	86	71	9	1	5			
平成12年	64,011	93	75	12	1	4	1		
平成13年	78,812	103	80	17	2	3	1		
平成14年	95,550	123	96	18	3	4	2		
平成15年	109,508	138	110	18	3	5	2		
平成16年	117,302	173	143	20	3	6	1		
平成17年	121,812	178	147	18	3	9	1		
平成18年	117,927	180	150	16	3	10	1		
平成19年	118,498	170	138	18	1	12	1		
平成20年	123,829	174	140	18	1	14	1		
平成21年	132,720	186	151	15	1	16	3		
平成22年	141,774	180	147	13	1	15	4		
平成23年	138,075	178	151	6	1	16	4		
平成24年	137,756	201	177	13	1	8	2		
平成25年	135,519	215	201	4	0	9	1		
平成26年	※184,155	228	206	8	3	8	3		
平成27年	208,379	207	186	5	3	8	5		
平成28年	239,287	176	150	4	6	8	8		
平成29年	未掲載	174	137	7	14	7	9		
平成30年	未掲載	204	156	6	26	8	8		

※平成26年度より高等教育機関及び日本語教育機関における総数を本調査における留学生数としている。
 (独立行政法人日本学生支援機構ホームページ記載
http://www.jasso.go.jp/statistics/intl_student/data14.html)

事業報告

○平成30年2月16日、和歌山大学経済学部本館5階第二会議室において、平成29年度和歌山地域留学生等交流推進協議会（総会）及び運営委員会が同日に開催された。

協議会は、瀧寛和議長（和歌山大学長）が挨拶し、続いて運営委員長代理の和歌山大学国際連携部門の長友副部門長より、平成29年度事業報告（広報誌「きのくに」28号の発行、留学生の生活実態に関するアンケート調査、協議会関係諸団体の留学生交流活動（事業）に関する調査等）についての報告が行われた。

運営委員会は留学生と地域交流の現状や問題と留学生の生活状況及びアルバイトに係る問題を議論された。またムスリム学生への支援（礼拝所の設置）について和歌山大学国際交流課よりその背景・経緯に関する詳細な説明が行われた。

なお、平成30年度事業計画として、次のことを実施していくことで承認された。

- ① 県内における留学生の受入れ推進に関すること。
- ② 宿舍確保の推進に関すること。
- ③ 外国人留学生と地域との交流の推進に関すること。
- ④ 各界への理解と協力についての啓発活動に関すること
- ⑤ 広報誌「きのくに」第29号の発行について

※各界の理解と協力を得る上での啓発活動は、留学生の生活実態に関するアンケート調査、協議会関係諸団体の留学生交流活動行事（事業）に関する調査並びに私費外国人留学生への支援活動等について検討し実行することとする。

○当協議会関係諸団体の「留学生交流活動行事（事業）に関する調査」を実施。

○留学生の生活実態に関するアンケート調査を実施。